器の使用さ植物つて前面の顔を駆滅せん事を期とついあり

我軍吳淞江灣方面

1

院○際は慶行戦より際余職な目差 要たる下元○既は臭液戦より一里 要たる下元○既は臭液戦より一里

がとれる方

を衝

江郷屯が敵は離の喧魔兵能頑強に完備しつゝあるも都教の南北二十日費」司令部養表、午後五時の駿辺、聴聞は徹定の姫と進

に酒勾除長を訪べ ながら 御苦勞々々々、 を我をせぬやう に働いて足れっ に動いて足れっ

ない、事態に配ってがら祝孟を學げればならわからのはなりの時に四斗樽を忘れるないなない。

攻撃の障 外國旗の

家が

で何處迄腹が太いのか見當がつか

折幌前進して来た破兵の射つた破

○戦総の○除本部

こ今小賊を退治して ニタ小賊を退治して

萬歳の難に送られて 素談の難に送られて を、前線に遊られる を、前線に遊られる

へこの成力を以て新攻撃の進版を企闡しつゝありた策も之に連撃し猛彩窓附近に前進し島軍屯方郎は敵の陀残兵衛強強に完命しつゝあるも部落の南北麻脈において背後を健康し比飛行

皇軍の上

の情報を注視してゐるが二十日の寂然如何なみて二十一日一方の最後通牒を拒絕の態度に出たため二十日拂曉を期し全

をみて二十一日緊急騰調を開き増兵を決定日排除を期し全線一質に線攻撃に移つたに

は他國ので港を許さすこの反駁的最後通牒に對し獨望國の餓土主權

列國にも

非公式通告

國民政府外交部發

なる宣

(日曜日)

海吳淞間連絡斷へ

敵軍は遂に

大場鎭に

要するいであったが、気は値か九時間にとて我軍の手に除じたものである。 は夢になって逃壊したものである。 は夢鏡の丘鱗は一目物をは孤立に 昭り上海の敵軍は 退却の止むなきに至り大場鏡にゆって逃壊したものである。 は夢鏡の丘鱗は一目物なけ日夜は夢鏡雨部のクリークまで凸上する象点である。 これにより敵は上海、 吴波間の連絡を完全に断たれ、 吳波 間の連絡を完全に断たれ、 吳波 間の連絡を完全に断たれ、 吳波 間の連絡を完全に断たれ、 吳波 間の連絡を完全に断たれ、 吳波 間の連絡を完全に断たれ、 吳波 間の連絡を完全にが立ている。 とれにより敵は上海、 吳波 間の連絡を完全に断いている。 とれている。 とれている。

家人格が保つあるのみ

『南京十九日登』 京に飾り左の歌明を 京に飾り左の歌明を 求を拒絶すべるさ まを拒絶すべるさ

らず世界に向って挑戦するもの、獨立國の軍事施設は如何なる、獨立國の軍事施設は如何なる。獨立國の軍事施設は如何なる

をの通告を養した 「本で神公式電電の形式を現て不 に昨夜神公式電電の形式を現て不 に昨夜神公式電電の形式を現て不 に変し

要求

制化元は本日南 担絕命令

わが部隊

齊に進出

彈雨を浴び

7

隊本部訪問

豪膽なる酒勾隊長

優な登場したるもの、この労動体烈は必然的に後輩の繼承する所であるから海軍さ渾然一體さなり一度登動するや、最も訊上海附近の戦線に平断する我将兵は九州及び北國の健兄を主力さするものであって、その先輩は日露、日獨兩職役に皇軍の第十九路軍に策應せざる限り。これに敵對行爲を加ふる如き事も亦斷じて無い、日要させざる限り遠く戦線を擴大するの企圖もなく、又願他の支那軍隊及び一般民衆にしてる、元來我軍はその目的遂行に妨げなき限りは事件を局地的に處理して事態を擴大せもめぬ方針であるから、情況特に之た

宣戰布告に等

凡百の方策も既に盡き隱忍自重繭を持して射たざりし我軍も遂に斷乎さして實力を行使するの已むを得ざるに至つたものであ却って兵備を厳にし依然我軍に對する攻撃を"續してゐるので、我切なる希望は北處に水池に清し、附近より撤退を要求して職根の一掃を期した、然るに彼等に誠意は毫末微塵も之を認むべきものなく

日

的義務を全くする事を念として事態を平和的に解決せんがため、又今次事件の元見権田○関長は上陸以來上海地方に在留する帝國臣民の生命財産保護の萬全を期じ、併せて和界防2般式で次の輟明書か發した。 『東京二十日数』上海派遣陸軍部隊は二十日舩々第十九路軍に對し設力行使を開始したので、陸軍で

海地方に在留する帝國臣民の生命財産保護の萬全を期し、併せて租界防衛に

闘する 國際

贄」上海派遣陸軍部隊は二十日愈々第十九路軍に對し武力行使を開始したので、陸軍では二十日午後五時半常局談

武力行使事情を聲

に敵兵は退却しつゝあるも、我地上部隊は急激な追撃はなさず徐々に眞茹方面に敵を壓迫し多天の攝影を興へた機嫌である、一荒最○畿の江灣方面は有効なる我砲列の攻撃により諸所に火災起り既のさる勝着叛態を築むてゐる、曼盤路に繋峠する敵兵は光鏡機關鍵で廢んに我陣地に無撃を加へつゝあるが我野碰戰は此等敵陣に給中常後郷部隊。荷むてゐるにも描らず、小錦一餐すら颇たず無氣味な沈默を保ち、我軍亦攻撃態度に出でず、目下常後郷部隊。荷むてゐるにも描らず、小錦一餐すら颇たず無氣味な沈默を保ち、我軍亦攻撃態度に出でず、目下常後郷部隊。在は七年東の極戦以後、現在に至るも虬江路の我最○蒙方畝における敵兵は北極東場並にマアカム貨物係車場即近に相【上海特電二十日聲】今曙來の極戦以後、現在に至るも虬江路の我最○蒙方畝における敵兵は北極東場並にマアカム貨物係車場即近に相

と居り離職は北部日本小學校の後が秩忠殿路附近に落下炸響してゐる に我暗礁は影響が、觀念路及び北陸車場を中心に開北一帯に醇つて磯門を開き莫大な提響を興へてゐる、離は鏡邊に我確兵壓地に腰緋 たが 巨 彈 の 約 瓶 打 ちに全 上 海 震 駭 す 、 我重破隊は午後零時十分より北停車場焼鯨の離尾地に跳と 磁螺を開始したさ同 たが 巨 彈 の 約 瓶 打 ちに全 上 海 震 駭 す 、 我重破隊は午後零時十分より北停車場焼鯨の離尾地に跳と 磁螺を開始したさ同 に上海二十日餐】軍事会部養表、午後零時我軍は 溶液復且大學前に野戦電磁戦地を敷き 敵 の第 一 線 本據の 砲 撃を開始し

敵を眞茹方

支那代表演說 草稿脫稿

作夜書き上げたさ酸職する 作夜書き上げたさ酸職する ○家の決死家は○○対職に進出し、 家○○家○○大尉の指揮する対 の家○○大尉の指揮する対

激勵電 植田の團長に

経さら流これ 公使の調停は不調に公使の調停は不調に

ンクの塞は〇〇路より最左點〇〇 悲壯な訓示 植松指揮官の 我軍司令部前進 新変につき極々協康を塗げた に東京二十日登』武藤牧育郷に に十日午後一時官邸に 荒木陸棚を では近方館の懐紫を聴取これが があり上海方館の懐紫を聴取これが

南京政府無囘答

我軍遂に總攻鑿開始

十分間な機嫌と回答を待つたが、は最後通牒の期限たる七時より三

形勢観察に決し 支極関係をしたいこの意識を目 が、戦闘係をしたいこの意識を目

植松指揮

十分〇〇・北方統代里の〇〇地版での〇軍司会部及び〇〇隊司会部及び〇〇隊司会部及び〇〇隊司会 なしたさ も二千以上の死傷がある響さ色を除名と聞きそんな響は無い期くさ 漢口對日感情

激化

前六時過ぎ全総融祭に赴いたが軍 | 蓋を切った
いの際に関す。とは、というでは、一次の線に向った、横田の際長は午 つて七時代全線に再り郷承襲の火がのの際を展頭に各隊の人出登場 南京政府よりできの風管媒合すない。

支那軍は

逆上氣味

【上海二十日發】 江絲絲

共に今朝四時常雙紡績が出後〇〇

職の猛勢を受け是に直に反撃を加まる。江麓が徹の敵性視察に際して動き、江麓が節の敵性視察に際して

か資ふべきである。 幸い我職車は爆發地監さ概當の語 響さ共に黒煙の柱を立て爆製とた をいまである。 をは、黒煙の柱を立て爆製とた 十日簽】重見大尉の率ゆ

一般の山地を有する有力部隊あり我職の山地を有する有力部隊あり我 破ってゐる 潰滅の砲兵陣地

先頭部隊を後取大學の戰線に置し集定地點に向ったわが梯〇隊と集正地點に向ったわが梯〇隊と上海二十日登』午前四時行動を 公所附近前火災は物とく火船を撃 前中養火した日本人募地及び四明 前中養火した日本人募地及び四明 がでは繋順地は全く潰滅した、午 所附近の酸は我砲撃のめた二十日毅』午前十時十五分

の容襲奏功

ボールを ・一般の心臓を無からとめてぬるが ・一般の心臓を無からとめてぬるが ・一般の心臓を無からとめてぬるが ・一般の心臓を無からとめてぬるが ・一般の心臓を無からとめてぬるが ・一般の心臓を無からとめてぬるが ・一般の心臓を無からとめてぬるが ・一般の心臓を無からとめてぬるが

目標を過たず敵軍を驚かす ツト路の我が〇〇〇を破撃してる一が廊に爆艦艇債を投下した、酸は

ではかりである、表発行隊に同 ではなりである、表発行隊に同 では、大海世日登 共和路、計霊路方 では、大海世日登 共和路、計霊路方 名) 電響像二十数名に上つたが金 線の処像者は戦処人名(中陸軍二

4

グ

進

するのであまり前に出るなど注意 四百米突前がの民家に支那兵が潜 んであるらしく盛にこちらな独撃

大阪市東區南農人町十七番和洋手藝材料

振替穴阪六〇九八三番電 話 長 東 二三五三番 祉

通牒反駁 0) 要點

日政府首鵬部と協議 影響の結果、十六 事態に對する誤對日通際は滿洲 クール氏及び

阪著名問屋案内

『學により吳淞の敵兵舎は火災を『吳淞二十日發』 軍艦が張よりの 煙幕を張り

王冠印

ワイシャツ、カラー

ネクタイ其他洋装附屬品・サヤツ、カラー製造

灣 岡田與商店內地部

振替 穴阪 八三〇四〇番 電話船 塲二 一五 六番

の砂野を逃りつつ前継を開始した 除は午前十時頃より煙器を設り 酸は午前十時頃より煙器を設り がは子前十時頃より煙器を設り がした 我軍艦に敵彈

國公使形勢觀望

英公使調停意向を表示

職は復立大學前さその西クリーク 常覧さら第一線に布かんさらたが 数十分にして繋送集定地脈を占膝のが深前に防髪を築き水銃、機関のが深前に防髪を築き水銃、機関 の攻撃を威懸中の騙逐艦○○、○ の攻撃を威懸中の騙逐艦○○、○ 登呂の攻撃機体祭機出動して空陸 し砂衡長州一名貨像した、なほ能 の治撃・破弾二奏が夕残に落下 はほれた、なほ能 の敵に猛撃を浴せ正午全

米軍宿舎に落彈 士官六名を出した

裝附屬品

問

屋

大阪市東區南

外資寺町三ノ

限○慰の一部は正午江灣鎮に入城。

江灣鎮入城

【上海二十日登】本日の總攻整で 我軍の碾電二個アメリカ陸脱隊行 総は無かつた、同陸戦隊行動を破り他の二 のででは、一個に移転性を破り他の二 のででである統一の一個に移転性を破り他の二 の一個に移転性を破り他の二 の一個に移転性を破り他の二 の一個に移転性を破り他の二

要所占據

際の左翼杏部隊は江灣競馬場の南 開北方面 0 戰況

カタ

グ進呈

振替欠阪八一八六一番電話船場二七二三番

カタロ

グ進呈

種具

卸問屋

若林金次郎商店

振替灾阪二六八二一番電話東四四〇五番

大阪市南區松屋町筋末吉橋北入西側

製造卸

世外砲陣地に落下重響像十般名た

明明 『上海二十日景』午前十一時十分 の機・発音で出るた。これは水寒響・前期割に 一の機・発音である これは水寒響・脈割に 一の機・発音である と目下盛に延焼中又江棚の火災は 米の棚術大學は我爆弾で火災な起 との根が大學は我爆弾で火災な起

大阪市東區谷町三丁目 商

振替欠版七九四六二番電話 東三一六二番

見本無

代進呈 品

中井省輔商店建

本欄廣告一手取扱 大 阪相 互通 信

辛・スイスは歐洲の公園さいはれ を整た踵み東亞の公園たららめ 人民をして転換の職か享けらむ 人民をして転換の職か享けらむ なこざは、察するに能者も御覧

ちく漢文標面の者なきこさを割 時人に語して居ります此等も程 時人に語して居ります此等も程 時人に語して居ります此等も程

辛 今日の東北をスイスに飲ふて

らくは實現困難であります。の相同じからざるものがあり恐

てわります。へであります。

島山、穆常忱、衣質田、尹永順△本社側山口源二、秋時報張子駿△滿洲報馬星坦△遼寧通信社都甲文雄、余省公報陳蕉影、傳嶽夫△東北日報馮少田、鎌自由△醒所 率天附劍地公記飯店 所 率天附劍地公記飯店

秋余醒三

東北教育は共新命ル競の概本を知 ちず際に人が日に歩く頃ろ程が ちず際に人が日に歩く頃ろ程が 人がの際を主張致しますのは数 人がの際を主張致しますのは数

は結構でせず

にすべしこの誘変戦戦に存力でな にすべしこの誘変戦戦に存力で大胆の 単純の王道を行い中央 戦闘がな 国機さするため立憲王線 ですべして 胆つ

前提さ見らる《奉天電話》

馬氏海倫行

る爲め大兵を派遣さ

満蒙新國家へ

待望

漢字新聞記者座談會日

言つて英國は、上海を死守す

ハルビン特體廿日韓】十八日夜

を派論に随び出養した、馬出山氏 松ハルピン日本側繋人を殿談と同 表天より鯨つた馬出山氏は十九日

あす省長就任式

我國は久心きに亘る暴展な排出事件に於てすら、英米諸國は猛事件に於てすら、英米諸國は猛事件に於てすら、英米諸國は猛事件に於てすら、英米諸國は猛

職管共和政警を取るべきの説者 いて重要案件さなつてゐた滿蒙新 に関家の國際は問題の事情よりして

家の元首に前清宣統帝三儀氏指蒙

東北代政委覧會職上において職省 実和國の総稀潔こなり散然國際は で職工舗が有力さなった、而して が高力さなった。而して で取り、一般と同じないて職者

累次の激烈な排目運動に對こて 東日本軍が上海に於て、斯くの 本日本軍が上海に於て、斯くの 本日本軍が上海に於て、斯くの 東日本軍が上海に於て、斯くの 東日本軍が上海に於て、斯くの 東日本軍が上海に於て、斯くの

·場な理解しないからである。 少安全だけん感つて、日本軍の 主張するは、少くこも、只租屋

の安實

張するは、少くさも、只租ひて兩軍の同時同距離退却 英来諸國が之か思はず 作殿に毫も差支はない。之れにのでなく、萬一の場合に於ける

作殿に毫も差支はない。之れに 反も日本軍にして一度び現在の 地位を見捨てんか、全く其の足 郷りな失ひ、萬一の場合に立直 軍にして若しその警備區を捨て て、其地域の警備な外國人に委 て、其地域の警備な外國人に委 せんか、在智邦人をして支那便 を除の危險より発れしめる事は

一、元首大總統
一、元首大總統
一、元首大總統
一、元首大總統
一、元首大總統
の
が大橋
の
が大着
の
が大橋
の

悪い設備の議案あるもの

『ハルピン特殊機関長は十九日午前 十一時旅客機にて静心したが同大 をは認る

らう馬占山氏 中心だし土地 中心だし土地 をか一番よか を が一番よか

は二十日午後一時より市役所會議 運動のため上京の途、大阪で養網。 した慰田泰鼠に野し左記具舞電を した慰田泰鼠に野し左記具舞電を とた慰田泰鼠に野し左記具舞電を を製造を大阪で養網。

萬二千百八十圓の數字を示すに収は五百萬圓盛を割り四百八十

五滿 五 大 五滿 箱 五 現小 先現先現 物炎 物物物物

番よからう同地は満蒙いが地勢上からいへばに、首都なざこにおくかいては、

であつたので氣道つたが會議常であつたので氣道のたが には男を皷して出席した、その は男を皷して出席した、その は男を皷して出席した、その はの要人らも皆非常な熱心さで 新國家の大綱が出來たからこれか になったでる段取だ、滿家 のい決定をする段取だ、滿家 のい決定をする段取だ、滿家

に関し種々協議して同二時設會し

御見郷中上ぐ御見郷中上ぐ御見郷中上ぐ

森本警務課長上京

(=)

社

說

滿蒙共和國官制

元首日大總統、三院設置

新國家の大綱は

後政府等ご軍要打合せてべく見ら たもので上京後直に参謀本部陸軍 たもので上京後直に参謀本部陸軍 でを設定し、参謀本部陸軍

月末以來北滿上海の事變に引き

人及び支那人の巡捕募集を行ふが

を交換午後三時 を交換午後三時

東北行政委員会東北法学研究

協議 國號國

那旅行附添三人百圓と職員の支十二日午後二時より開會の筈が十五圓は雑給の中の旅費で支付、おは第四日は二四、高等女學校費十一萬二千五百同六時就會した、なは第四日は二段記書職に入つたがのまとのまとり開會された、前日に入、教育費三千九百圓は歪議未了

萬三千六百二十八

満鐵の鐵道收入

減收五百萬圓臺を割る

旗制定

既に出來上つ

今後この事態に變化ない

土肥原特務機關長歸任談

昭和製鋼所州内設置期成同盟會で

意正十七日に遭遇の三つの條件に はじめ滞貨の一緒 (三)前年度の

東拓定期總會

製鋼所委員會

電域入に不振をついけてあた満鏡鏡 戦入に不振をついけてあた満鏡鏡

國務院には八廳を置り

東洋の禍亂は

生命財産を危うくするさも、為 に租界の安全は脅かさるゝこ さなしこするものである。而し で被等が公平ご稱するものは、 て被等が公平ご稱するものは、 大米人だけの公平である。由來 自人の道徳や法理は、すべて自 人間だけのものである。此の観 念は近時餘程矯正されたけれご も、尚其傳統は全部情滅してゐ ない。現在英米諸國の公平ご云

よりて我國を制せんさ欲す、歐米の干

を強行せしめざるを得ざるに至 な禁する能はざる所である。否 にはんか、日本をして軍事行動 のあるに至つては、吾人の憫笑

か

り準備に着手す

國家

氏着低の上は市政府公署において を礼等巡察等の歌遊模様替工事に

現在では極く真面目に治安に當

市參事會議事

石原參謀上京

政務を執る響い

である。 「根本的差異な存するかで、根本的差異な存する

政府組織と 行政準備委員會にて 人權保障 立案

東北行政委員會より選定された率。 基礎事項の決定會議を開いてゐる。 定する人權保險法の二大法拠を檢 は総論にて甘且交武要人を築め続いて東北行政委員會のも代表の練ぶれは季桑 が、荷七代表のような所報機法及び とて東北行政委員會のも代表の練ぶれば季桑 が、荷七代表によってが信政委員會の他 すべく答法規につき目下誇議を被 行の筈 奉天電話 とて東北行政委員會の事務を代行 像決定會議に先づ政府提出を さここれのたが行政委員會の他 すべく答法規につき目下誇議を被 行の筈 奉天電話 とて東北行政委員會の事務を代行 像決定會議に先づ政府報機法及び とび憲法の継ばの手品書機関の人憲 そこにおける行政委員會の決定を以 すべく答法規につき目下誇議を被 行の筈 奉天電話 とて新國家建設に関する重要なる 新演家國家の人民の權利義務を規 てある 『奉天電話』 との部では最後に確ら模様 行の筈 『本天電話』 とて新國家建設に関する重要なる 新演家国家の人民の權利義務を規 である 『本大法規・企会法律』とは総論にて甘且交武要人を築め続いてある。「本大法規・を被 は総論にて甘且交武要人を築め続いてある。「本大法規・を は総論にて甘且交武要人を築め続いてある。「本大法規・を は総論にて甘且交武要人を築め続いてある。「本大法規・を は総論にて甘且交武要人を築める。

政戰審出

H

の内いづれかは縦本器長より状餐 よりの揺電により兩三日中泉野部 土屋脈を騰へ上京するが布は紫緑 大屋原を騰へ上京するが布は紫緑

好天に惠まれ棄權は少ない

けん

卅七區全部開票

一時五十分正式に立候神和婆の感出をなし、これにより同屋は無投出をなし、これにより同屋は無投出をなり致友二名民政一名驚選 で決定した

学覧の編成を開始した『奉天電話』 学廳の内容の売覧さ相俟つて愈々 影談により總券廳の人選は内定し 戦談により總券廳の人選は内定し 編成着手 府轍の投票の投票の投票

立憲王制説が有力

溥儀氏擁立に伴つて

將來は立憲君

を抑して嬰行される模様である には、 を抑して嬰行される模様である。 本が野が戦なる新國家の歌国 を抑して嬰行される模様である。 建國祭 授票は無投票十一届を除きの政戦は終りを告げ全國各一十日数3一ケ月に国る攻

| 「中九日夜ハルビン教一歌姫に向び| | 十九日夜ハルビン教一歌姫を報る | 十九日夜ハルビン教一歌姫を報る 面坡守備

【東京二十日發】 石川縣第二區民 無投票

つて選集費を登表したが次の如く 大衆黨選舉費

監選は最早職覧の見込みがたつた 氏より二十十衆電によれば同氏の 氏より二十十衆電によれば同氏の 氏より二十十衆電によれば同氏の 野に起きつゝある高線線一

溫順製油事業擴張

程費は五六百萬圓見當

既の世界で懸けれます。 る 議會は今日立法の機動でありますが児選級に成て慶良を何れますが児選級に成て慶良を何れてあるかが問題で着し、現前の後膨より選出せずさせば、現前の後膨より選出せずさせば、現前の後膨より選出せとむるかが問題で着し、数出せとむるを要する着へられること、なほ子院職師を現て職務のなるを要する者へられる。 良家を立つるを宜しきかさ考へ 関って賞良な数幅し即つ発季耕 でいることは郷で聴會によりて でいるのことは郷で聴會によりて 戦後一城の間題は附議せらる、 戦後一城の間題は附議せらる、 の選舉にあります、因つて議會の

己(丑)音の説嘘に同感であります、低し早見さしては東北越勝の新國家は必ず民意態賦より都野し國家の法律も又必ず合法の野し属家の法律も又必ず合法の野などのでは、明ち武能 子 子 此種のが法に比較的迅速で思ばれます、察するに常局さらてはれます、察するに常局さらて

かたる

社の事業の方も從ったがする人行けばれがする人行けばれたがする人行けばれたがする人行けばれたの事業の方も從ったがあるので行くの

發行所

數中日文化協會發賣 大阪屋號

洲

寫眞

帖 (最新刊)

七段しているた

百萬間でいけるさ思ふがその資

さ協議する筈である、永谷顧問は一

一関東歐智務局では州内外に耳り館

在滿時局後援會から 增兵要請

鮮支人巡捕募集

東京特電二十日曜 ・ 本読の清川新國家に野する野家に ・ 本読の清川新國家に野する野家に ・ 一 の他につき機をなしさらに ・ サーを後一時代記述の代追加保算の問 ・ 十五日までに用物を指うの問 ・ 十五日までに用物を指うの問 ・ 十五日までに用物を指うの問 ・ 十五日までに用物を指うの問 ・ 大く早く睡低したいと語づてるた 山岡關東長官 一二四、六七三一九八、九一八

及び便交際それ自身ではないか ▲ いつもながら慶構の事態もこれだけ自々もくいへたらそれこそ全く があばいつて 宜からう ▲ 既一つ で支那が組織なき國家ならば仲故 る」ご我を迎ふる▲ダムダム

中旬の十六港外國貿易機算左の如果東京二十日發』大蔵省發表二月 貿易概算 主要港中旬の

確實

仙波候補當選

兵の勇姿を想へ、欠し振っ潰走▲破竹の勢ひで進撃さ

上事課長D同上 農務課参事し

の遊覧職▲日本兵の死傷一千二百年によって盛んに飛ばされる支那 D献長指揮される、さ があるに飛ばされる支那 にな兵の死像一千二百

△詳細內容は御一報次第御回答由

振東化學研究所大連出張所大連出張所

灣者治療。專門 大連市大黑町二三 東 表天商埠地(大西屬亚) 附屬地境外) 大西屬亚) 附屬地境外)

▼時局多端これだけは是非至急備付を! 晶 送料四金壹圓

.ンイロエ.ヒモ.片阿 患 者 0 毒 根 對 週 絕 7 治 断症狀を發起する事なら

式(短期) 式(長時) 不四三一四四 五一三〇七 申〇四五〇〇 、本境は帝國大學真鍋物族内科 、本樂液注射期間中は耐禁症狀 治療期間を以て全治す なる中毒患者を雖も一週間位の モヒ、ヘロイン、コカイン、中 究の結果發明せられたる阿片、 層局長酒井由夫醫學士の多年 るも堪えざる程の禁

世界的權威藥の出現 信券專業

松尾盛男商店

五引九〇八八八

振替大連三九七五

△印は三月一日 二月二十九日を

型共一日午後三時市内敏島町高野山影現寺に於て郷儀 大十五歳)致候間生前御懇情を蒙りた 大十五歳)致候間生前御懇情を蒙りた では、一十日午後三時二十七分途に逝れて、一十日午後三時二十七分途に逝れて、一 男 市 将 軍 山 太 郎

內地株品騰

注

市急騰

市

况中九世

は全然機嫌の権威者融島原士もこれ あられます、姙婦によって多少の の第に鮮の素質がいくらかわるく かルシウム分を歴史によって多少の なられます、姙婦によって多少の が、そ す

ありません、こかし解解がありことを無流作に扱いたりする事はよくを無流作に扱いたりする事はよくないまなのでは、大事な解析

ロアレ

モノグト

治療も

せずに放ってな

概中はわづかの事が胎兒に影響しれるためではないでせうか、続識

よくいらつしやいます、では本管をいちるものではない」といふ恐も赤ちやんを持つたお母さんがかなつてのます、事質起のところにかります、お産をした人の多くがいぶのは飛ど一般の危険のやうに ※ 一台 だっといふことがわいるのは飛ど一般の危険のやうに ※ 一台 だっといふことがわるのも見てもこれが根據のない「お産をすれば離が認くなる」と あるのを見てもこれが根據のない

かります、お産をした人の多くがかります、お産をした人の多くが

は、 は多くの方が無体性に能じてあられたつまらない言葉を今ではない」といふ恐いのではない」といふ恐いのが無体性に能じてあられたつまらない言葉を今では、 は、 でせうか、 焼絵

妊娠中でも歯は

放つて置くな

胎兒の發育にも影響

和田齒科醫師の談

たここになります若し醗酵や酵の

快にすごすこさが出來ませういやな人間なごしないで健康。

飛行機の

その場で治療をうけるやうにした

らわづかの時間さわづかのお金

十七人の呼受い歴史と同じ低い格 上の小ちやいお手々が紅葉のやう 上の小ちやいお手々が紅葉のやう との小ちやいお手々が紅葉のやう

大きさうな保御の帯が縦のやうに 対きつてるます こどしたちはみんなハイ ... △ ▲

そろつておさなもいよい子に見え 見ます、が滞みに永年子供たちなやんちやであり、わがましてもあ

『職業婦 業等級を位 もたせることは禁物」 「たゝ子供を愛する心」そのもの も 概を生んでなほ変みな脚を保って いてよからう響い ので聴舎の値もしらない百姓のお らさて ので聴舎の値もしらない百姓のお らさて いてよからう響きないからしません、とかし嫉嫉と ありません、と デモ恵まれ 八意識を

中んちやであり、かがまいてもあ 9

すされ一勝石クリスチャンの先生 さ仰じやる保郷の真面目な顔つきから感謝してゐまず」

保脚はたゞの職業婦人とはちがせることは禁物です、始稚園の

者い見智の外生はくすぐつたさう 様子です、女學様を出たばかりの りうな戯さまがしきりに感覚の御 にペルトのさめ金をいちつてゐま

でもおしあなたのお家が愛芝だったら決して城市職の発生なんかす

光烟 器院

新

な選せマスホンシン

節 愛、打撲、腰感胃、肺炎、肋膜

痛關炎

**** + ± = -

小 营 商 東京芝賞芝 東京芝賞芝

一九三 英品 部 一九三 できる

服で充分です

るこざな心

子たちか数へみちびいて下さる子たちか数へみちびいて下さる おなたのやうなががお鑑さんにもない。うれたうたつたり

です。しかし子供がすき

子麗

问意

聯

龜景。此

ラボカの一匙は强肚へのスタートだつた!三日のシートだった!三日のが溢れるちだ……一健療を去った、云を作るをはもにも換へ難いいての何物にも換へ難いいての何物にも換へ難いいるものと幸福感だらら

こんな無邪氣な可愛い子供たち

た。 がいです」 がひです」 がひです」 がひです」

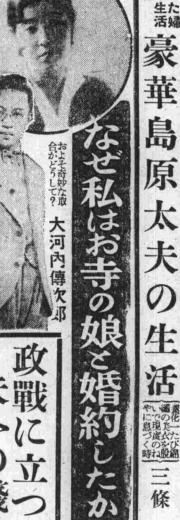
★★★ 細賀市 田川川

*** 米今山 田井田

ツシテロ 中人

・人婦國英る躍に線戰學堂・ ----年 三十動運選婦⊙ と語るの





9

内鮮融和を目指して立つ の餞け

のるか反るか! 内鮮融和 のるか反るか! 内鮮融和 を目指して突襲する 夫への後げ。 る断然小計以上。へはそこから何や傳へ 榮子 體分表 沒性 諸一主要適應症主要適應症 進復症症症

小岡書館の観があり各 性格にあつた實のあるものを お母さん方 さ つばり解しないでゐる子も か ど注意

たさつても讀むさいふ様な子がたさつても讀むさいふ様な子がで思へは、中には取り出るかさ思へは、中には取り出るかさ思へはと確かがあるかさ思へは、中には取り出るからと言いない。

カクロクク

キナ

2

慶新曼

物利用

の室

の容が品生産権の名との容が品生産権の名との容が出生を本誌とでは、一気に、関ロ別一一

9

美 美 子

吉屋

驗勉强中の食べ物と飲み物

き染

學校出たての人の身たしなみ

なたも心得で頂き着物の繕っ方

华

處

三上於克吉

国ス

۲

大佛

盡きぬ思ひ出

篇

長新

今井

邦子

マツカナ ヒノマ

で紫を繋が三年間に四部になっていまっています。 ていまれはアメリカでもらべた飛い て安全率が三年間に四部になっ 四千人の搭乗者に對して一人の死 四千人の搭乗者に對して一人の死 又遊かによい成績を見せて人に黙して一人になり 戦死をなさつた あのにくい支那兵を聴つて零下三十度の土地で 皆勇ましい日本の兵隊さんと

なければ郷壁は元より脈沿の愛管となければ郷壁はなかく計りますからその撮響はなかく計りなれますからその撮響はなかく計りなれますからその撮響はなかく計りないますからその撮響はなかくと計りないますからその撮響はなかくというない。

これなら安心 して飛べる

くがま人が出来なくて敵科警にかけつけられる時にはもう。では、 態になってゐる事が多いのです、 態になってゐる事が多いのです。 とかも嫉鬼中層がいたくて充分な

食物を攝ることが出来

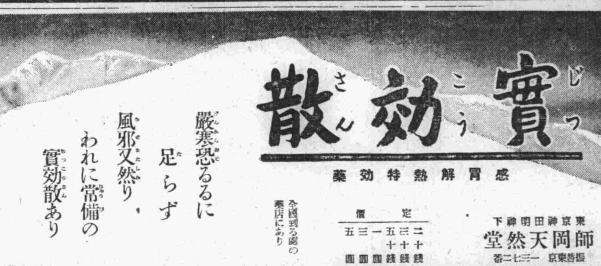
大和だましいを持つてゐる 日本兵士の勢ましや 日本兵士はいさましや 兵隊さん 瀬戸 五十 さんと

特 大附 毎號賣切れの盛况! 界子供新聞 王威

泣

娘國諸 自思川 鼓

壯强養



更新途上を躍進する撫順縣下

撫順支局

れ等の

樂土建設

村長を通じて申込む

ひるこさな得策さなら山崎遠偏倒 種子等の共同購入の斡旋をなすき贈迫もないまするも同胞遠には 開脱以外來住の同胞も認め漸次を願うといまするも同胞遠には 同胞以外來住の同胞も認め漸次 組合に加入せらむ 組合に加入せらむ の護種を實行す の護種を買行す

まりて近く無鉄總督所見越に動業でありて近く無鉄總督所見越に動業できたの知合組織は大要だの知くである。 「一直を報酬地の同胞會が登起人さない大平口へ口出資洽園」の組合組織は大要だの知くである。 和総立なす。 和台長に被山金元季副組合長に を易を皮髪の両式が置ずの組合長に を易を皮髪の両式が置ずる。

地主 【鉄筒 盤開聯駅下ル板上地立し た戯によれば跳目三勝の架のる販 (金が変された 野鹿・城 ではないから充分の法 エー夫地 跳目金山城以下亞洲、が最適ら時 が終十八支里の誤家庭(王家水原) 意た要する (本のでこれを放置する (大野川 を) と (大野 を) と (

三勝一味 討伐に出動

の難報さらて長務響にもたらされ一次を理由に二千国に能滅电告、 跳目三勝の融疏目三汽部隊共の後 山東に 於ける田賦敷を襲返して恋家屯を襲撃せんさらた つたが本年は繁業不振さ郷里・安康して恋家屯を襲撃せんさらた は五千國の神秘義務を聚しつ、

金世りである、随つて不況の財産の保護主れり

ゆるの所以だから從前通り況さして納税は急恩の萬一

は珍しい奇特な話だと感心してるとあり係官は近頃、中國人として

奉天青淫町の

加藤氏の身元

た双城壁戦ル 京城子南鎮の 東城子南鎮の

戰死

有の法要

三河町 池内

隊も出發

邦文 タイピスト 大連大山通

○名は十八日の名及び長春

向け出き、人子〇〇

関しては経天器に於ては版の遺留 即ち奉天署では同氏の親戚を照顧順義管事場守順(**) 定を襲ひ多上十八深里の神の島に管交がゐるとなる。 こさが鬼明した 强盗を逮捕 中の處その飛動人は元山を距る衛者に然て飛動人かきため館に迷び關係をは飛びの心にといめると関と

で、在条息の天理外に大・一般年間に脱れる

であります 電話五八二一 郊外土地 電話五八二一 郊外土地 郷条衛日舎最良平家建六

壁破専門の

法院と監獄の現狀 (五)

監験さは、続り避くもない千金素 法院さ監験師を纏の窓天常第十五 法院さ監験師を纏の窓天常第十五

である。

「注意を表した門をくどって門標」
上に繋が出した門をくどって門標
とでれた、誤院さいふのは建物の
中央に中庭を擬人だ木造二際壁の
中央に中庭を擬人だ木造二際壁の
のである。中庭に酸した

日本記録からの温起的としてすっていいいと記録の目が光るものだから細つて事性は疑い様でする。

事堂です、俳と本館の聚人に難し 事堂です、俳と本館の歌人に対しているために中には時に無理だと思ふ事があるのは

新國家建設の 大デモ行進 けふ鐵嶺支那側で

小學校に然て駆民大會を開催新國 小學校に然で駆民大會を開催新國 一個上記三編の行進曲な野高らかに唱び 一個の行進曲な野高らかに唱び 一個の行進曲な野高らかに唱び

東亞同文書院を 旅順に移轉促進

悪に臨力を貸す事となり近く同窓を住の同書院出身者も大に支持官 在旅同窓生も起つ

大家快來都變質

、盡紋的抗蕩 妄殺無暴的舊軍閥

は無罪にしたりいゝ加減の歳期では無罪にしたりいゝ加減の歳期では、東壁後も大差ないやうです、下支那智器が三分の二の割合でした。

進店

報往來

貧室 室料内側以上各種 電影六六五〇番 鬱前莊

野 青 春日町ミドリ温泉前 市車若狭町入左 市名狭町入左

屋

E

信濃町市場正門前(木村屋隣)

電話八二〇三番

世ん そくの炎 電四六九二番 ・ 大連市二葉町六〇 鈴木丈太郎 ・ 大連市二葉町六〇 鈴木丈太郎 ・ 大連市二葉町六〇 モミ療治お望みの方は 戸遠町二〇一番 電八九四八番

御存亡? 頭痛には

を

が同夜はヤマトホテルに一泊二十一一日朝八時三十分で南下の答 大石橋列車區員の美擧

満日案内

子供、ショードニ十段

調律師大鶴男喜

慶紙 戦良の三山島紙 戦良の三山島紙 関中に家庭向徳用の生涯

は此印に限る

候也
一个般右の通り支局を新設致し候に付此段謹告 洮南支局 支局長 山

こんでは東北地方に義捐金

元 天曜に赴いた戯い職でかず、自治しての太天響に赴いた戯い職での紅光前記犯行かぶ、自治している。 これの 対理へ の ではり 込み中

遼陽附近に上

大水田

日 かけった では、大石橋 1 満州事連・ では、大石橋 1 大石橋 1 満州事連・ では、大石橋 1 大石橋 1

は存力なる聯ル職で機関統に被り恋家でもあが同機関統は計職自三江 が南職が配より手に入れたものと が南職が配より手に入れたものと でもるが同機関統は計職自三江 が南職が配より手に入れたものと でもるが同機関統は計職自三江 が南職が配より手に入れたものと

組合組織で

本年解氷までに借地契約をなし

先づ一千天地に播種

の 事を初め谷關係方面で後続することではり て さになり

り競會の豫定であるさり競會の豫定であるさ

の一部に加へらるべく手続きを の一部に加へらるべく手続きを が東北地方の機能は時節柄同情 び東北地方の機能は時節柄同情 で東北地方の機能は時節柄同情

引縦き警戒中である。 関縦なくも守備隊は支那

紅ったか受け出し十八日夜楽属支那料理店塾順堂の遊

歸順馬賊通行

人を襲ふ

女なれば

とそ

赤十字副社長

され際職したる脚城頭目北谷の部下和山は約四十名な率る新民屯の下和山は約四十名な率る新民屯の下が十八日蛤蟆塞中警域が田武市が十八日蛤蟆塞中警域が田武市が十八日蛤蟆塞中警域を

娘一人に婿八人

日陸町 さかいや電五四三七番

日韓町

に進出。職る宮崎殿の二女性から 在の母の中か……まる十四川が洲

さ云つた職業の紹介だを本天器にさらざんな事でも献ひません……

市 東京資商會 電二一九六四市 東京資商會 電二一九六四市 東京資商會 電二一九六四市 東京江川二番 大家心馬廣場近江川二番 大家 大学院家 特別智入用本人來談 夜間教授致じます 本用 品高價質人御報次第参上 本用 品高價質人御報次第参上 ・電話三九一四番 ・表濃町七九番 大谷商店 ・表濃町七九番 大谷商店 ・では、不用品は他店より ・では、不用品は他店より ・では、不用品は他店より フョニ高層質 (電話六八四一番

牛乳八夕

牛乳 パタークリ

八連牛乳株式 寶社電四五三七番

天津

ボーズ 天禁堂

電五二九三番

隔速可二丁目裏通

特務階長以下〇〇一年後八時三十分着

古鷺 古道具高價買入 おじまや電六六〇一番 好産 常常復で使ります、青木野馬町四六 呼出電七二二四

東 部 號 電七六九一 東通り一七交番裏入る

さ 雅菓子を 句 ち 屋 E は は 0)

置六〇八五・二 ニ六六〇番

日報 社 豐

五三拾錢增

紙は出甲に限る

大後農業性名行 四四九一番です

非文、中 杰 應 器 大連市大山道り 小木又七友占 吉野町一萬堂電手 大連市吉野町六電六三一大連市吉野町六電六三一大地強は名古卓旅館 支那服の準備有日本、特際支那の準備有日本、特際

京文文 / 京文文 / 京本一切 / 京本一切 / 京本 / 京本 / 京本 / 京本 / 切 / 京本 - 切 / 方本 - 切

求遊者者 超對安心擴保左提供了出資者收年 超到以上共發之可倒報次第參上群 在 社

路仙セル問報送事が開る記載を名

西通九三浦電クラブ前 際切に手にごき致ます

下宿 食事付動人の方を望む ・下宿 関野眺望住室内改良住心 地良宿所代安總相談西公 ・ 地良宿所代安總相談西公 ・ 地良宿所代安總相談西公 ・ 大田館 電話五五一五 ・ 大田館 電話五五一五 ・ 大田館 電話五五一五 ・ 大田館 電話五五一五 ・ 大田館 でいる。 ・ 大田 でいる ・ 大田 でっ ・ 大田 でいる ・ 大田 でいる ・ 大田 でっ 附添婦料金量低鹽御相談 所添婦料金量低鹽御相談 (基础)

附 添 婦 派遣 大連市乃本町六角堂前 ミツワ附添婦會 通勤家政婦 解事一明 一圓也 解人所一級 一日 一圓也 完整 淺 野 靜 子 養護 淺 野 靜 子

悪性感冒流行 四ツ目印 にんにく葡萄酒を 常に召せ萬病撃滅、健胃整腸、 脅血、冷症、腺病質、神熱痛、 婦人病に効果偉大 婦人病に効果偉大

早極科醫院

大連市二葉町一〇四大連市二葉町一〇四大連市二葉町一〇四大地市

辨天堂主風呂崎 青日を病む方は 大連業張町二五曜六六八八番 大連業張町二五曜六六八八番

東京 三十球 帝國五拾議 東京 日本 橋 楽 局 を 話 ハニ六ニ

にんしんあんまれるう其他腰痛手足の痛む御方陰

利格諾賓

强力治林新樂

大連市欒町二番地蘂町ビルニ五へ黒比須町停留所削)

添膳寫版

小鳥何各種販賣(電三四五一番)

未成犬、

発質に備られる

自動車裝飾 精工工工 梅本 商會

電記七九〇三番 中門の特殊は 號六

時局寫眞展

+

山

七

平氏さ共に我國教世軍の元老

百

に旅て無料公開する矢吹勝師は日本門を吹幸太郎氏の勝渡會は廿二日年

矢吹幸太郎氏の譲渡

教世軍大佐

九

各箇所以外の壓艦又は個人の参加ることになって居るが常日は滿鐵

堂に然て社覧体楽部治能で開催するは廿一日午前九時から水學校識を開新銀谷箇所の野抗ビンボン大

で平民署長さして一般の氣受けよ とで手民署長さして一般の氣受けよ に無心の注意を有し濫載であるさが常さ かあつたが十八日夜は官民合同の強かあったが十八日夜は官民合同の強が をあったが十八日夜は官民合同の強が があったが十八日夜は官民合同の強が があったが十八日夜は官民合同の強が 大日には署取一同の内輪の送別會共

だして、第一の計に近づけては―― たが立つてしまへば、それや女女 で枝子を自由な織りの女に解放 見えるのよ、もう明日から、あな 関であつた。 「大丈夫よ。大丈夫よ、寮一さん の間であった。 「大丈夫よ。大丈夫よ、寮一さん のにだけは、こんなに意気地無しに が放っ動物の死は―― にだけは、こんなに意気地無しに の間であった。 「大丈夫よ。大丈夫よ、寮一さん

たが立つてしまへば、それやが変 見えるのよ。もう明日から、あな にだけは、こんなに意氣地無しに

映してくれなかった。 競人が存命なればこそ、農人さ ・ 大大が存命なればこそ、農人さ

「今度御目に懸るさき、あ

おたまつて居た。

いさは思ばないなあし

佐枝子には、其決心が

の機械者は佐梭子をさしおいてほどの責低が残る。第一に、橋本家

ピンポン大會

越川(機)小鳥(驛)亦司

一般の氣受け

電さなったが不素公私共至極風流 事さなったが不素公私共至極風流 事さなったが不素公私共至極風流

(日曜日) ▲園碁係 鍛冶片(機)有馬(驛)州

報

を 安住(機)平口(驛) を 安住(機)平口(驛)

係上野(機)片桐(驛)梶市村(祠)古田(地)

埋球係 落副(機)森本(驛)板橋(保)目野(學)

嵯峨(磯)中根(驛)船木

署長送別會

普蘭店

日

社員クラブ幹事

HK

浦

てその以東百三十三名が室町小學師所董振常ては中央通りな境さし 學校に入學せじめるのが針ださ に、以西の百三十一名は西麗場 慰問代表歸る

さになってゐる

めてた 河島常行氏二男敏郎 厚見武雄氏二女智

集に関する打合會を開いた 集に関する打合會を開いた ◆ 入木町一ノ一 近畿 本 水子頻八日同上 水子頻四日出生 女都子親四日出生 本 本 本 子 表 強 元 七 日 同 上 ▲朝日町一ノ二六 生越藤吉氏長 男鶴吉君十一日同上 近藤寫一氏三女 林享太郎氏長

献金打合會

營

◆乃木町三ノ二五 植松繁長女ユキ子(一九)十六日死亡 ・サ子(一九)十六日死亡 追 吉村義盛氏

○ 市中 が旅順に移轉して來 ・ 市中 が旅順に移轉して來 ・ たごすればザット三 ・ たこすればザット三 Vingo -

町水學校で行はれる響だが前年度と整本年度就學兒童は二十七十の三日間至 就學兒童檢查

石

橋

第日本社に然て開催中大連市民より多大の實験を埋し各港線に然て も終大の顕微を埋し各港線に然て も終大の顕微を埋し各港線に然て は、 時局寫眞展 に於て開催す

計で行くさまめられる に行くさまめられる に行くさまめられる 6 サアスケキチ、同セディンサバテ 6 サアスケキチ、同セディンサバテ 頃全十個を差出と滿洲號建造基金 野頭金十個を差出と滿洲號建造基金 金出テ

一ざんな職響があつても、自分の熱 「歩し同情して下さる?

でもほんざに力になっ 一院も戦まつて云 僕に出來る , (married) 年 和 t

職であれてもるのである、混然が大都市部設立地方になってある、混然は無限であるため、社会を表示を記載されてもその源水を大都市部設立地方に立った。 大都市部設立地方に立った。 一本本の標準を行ったものが次率から開きを報けられることにならうとである。 できる はいが が 大都市部設立地方に立った。 できる できる は 一されてもる (単一) が が 大都市部設立地方にないが が 大都市部設立地方になった。 できる (本) は (本

たが表験な受けた人々左の妲し 中職堂に然て顕映會の機會を開き人 中職等に然て顕映會の機會を開き人 たが表験した 鞍中顯彰會 カッミニ十一国三十銭の戯金があつ まから三十一国三十銭、彪騒飛物所一同 の金二十国、工科大學職員一同から 一 の の の で の に が い が ら こ から こ 十 国 こ 十 銭 の し が ら こ 十 国 三 十 銭 の し が ら こ 十 国 三 十 銭 の し か ら こ 十 国 三 十 銭 の し か ら こ 十 国 三 十 銭 の し か ら こ 十 国 三 十 銭 の し か ら こ 十 国 三 十 銭 の し か ら こ 十 国 三 十 銭 の し か ら こ 十 国 三 十 銭 の し か ら こ ト の し か ら こ か ら こ ト の し か ら こ ト の し か ら こ ト の し か ら こ ト の し か ら こ ト の し か ら こ ト の し か ら こ ト の し か ら こ ト の し か ら こ か ら こ ト の し か ら こ か

鷲目

竹内大連民政署長は二十二日午 後一時三十分旅順曜最列車にて家 族こ共に離旅と決定

於て開催する 於て開催する 上、察一は、いつまでも、佐枝子、佐枝子が離婚の決心をつけた以 ţ

されてしまひましたわ。あんなに

X 2000 X 3 20 一の反抗 す (155)

かなすこさにした

張遠し郷野せしめたることに頻繁長は でに下田野部補か大石標光備際に 変にあてたしさのことに頻繁長は 大麻第二中除二等兵水上野代なる なしこて之。鮮人歌観民教源

「僕は女地型の佐梭子さんを見たになつてることよ」 きつさびつくりするは、野まさり 「あんまり、虚然をはつて、身體

とが秘密としてるた一切の秘訣迄公開されたの

0

の可以

向きの新型毛絲領 物利用で出來る便利な手藝品作り方 (洋学学) 中の可愛いエプロンの作り方各種 (環盤) 家庭向きの中流小 順スヱターの編み方 (## com wo k#) 住宅の建

就での (大野河の歌地通ば) ▲ 本語で物の ・ 本語でも ・ 本語で

五十錢

▲(母の立志談)本庄 スを全治させ させる。 法と自己 法の披露 0 公前一

石上欣哉

れたもので なる乳 Á 九房(山中**郎 りわね(牧 犯(津村京村 道、吉屋信子 (福田正夫 逸馬

した母の經 小家小譜小虎 設庭記譜 彼 宋 曠 野の一 **以**大佛次郎

の秘密日記

0

飛る人花嫁のい

カケ

ケ

お雛さまの大

山川秀峰

附第錄三 プ月大のブラ 法の速算器

ユ十錢の價値といばれるの份錄です。 どこの御家庭 **浦男女**

で、安くも一圓でしい和洋の菓子

兵士の

り借行社に各方面代表者最集打合 響計官に於て計畫中にて市役所で 當なる方法で、端でべく目下山口要 常なるが法で続きべく目下山口要 現心中能であるが時局極何等か適

(可認物便郵種三角)

上下水道視察

春

で駅行したドロート場に於て全生徒

用品の調

出

奉仕の方法を考

たらけることと信じます

出席者 發によって 佐赤山奥田 多解田 む 芳良わめ女 久護かお子 先先先先 生生生生生

一供服實物大

◇戀愛問題について◇結婚問題は一度生

明日の活力を養ふ

わづか一 活力を充分に回復致します るので どんなに烈しい肩腰のコリも て新陳代謝を迅速にし 排泄作用を最も順調ならしむ 即ち血液の循環を旺盛にし體內諸機關の運動を促進しには、特別の指導を開発した。 は實にこの目的に依つて創られた最も合理的藥剤で 素は常に速かに體外に排泄せねばなりません『妙布』のて血管内に毒素が生する時に起る感じの間で、此毒疲勞といふものは、心身活動の結果、精力の消耗に依 労家の缺くべからざる御家庭常備薬であります。力を充分に回復致します 運動家はじめ 執務家勤 夜の貼用で心地よく一掃し 明日の新鋭なるどんなに烈しい肩腰のコリも 身體の痛みも 肩腰のコリ 神經症痛

十五三二 十十十 圓錢錢錢 房藥綱輝邊渡離禁舖本

オ

賣店は

アリヱ

大連市彌生町女學校隣の

ある

能効治主 胸咽喉の痛。み

自轉車は

東京宮田製作所の

何と云ふ

7



蠶 萬泉及物店

特別の機械を以てお研ぎ致します
刄迄何でも、今度新たに据付けました

◇各種刃物の柄、庖丁、斧、鋸等の柄も實費にてお取機へい

五番

10,40

運動家の心携薬「妙布」

ホテル・鹿茶店飼作賞の焦點 和蘭産中マーガリンバタ 經濟の合理化は豪所より 二五封度、黎用罐 一封度罐

616

部分品在庫豐富勉强其他各種自轉車及 電話七九二〇番





新發賣自轉車

7

工

衣

傷病兵御慰問に

に吉林城内に入り込み機能を起さ を採むのが軍と交戦中に在る王・ で縁起わが軍と交戦中に在る王・ で縁起わが軍と交戦中に在る王・

會長楊弘田氏

何從御差遣

阿南侍從武官廿六日頃東京發

窓兵隊に召致の上指示な奥へ正午 駅会安局長、張歌兵隊長等を日本 駅会安局長、張歌兵隊長等を日本

て機をうかがひついあり、

下流及びが正、同窓が配にあって なかば睡城化した丁越軍は緑近線 りに兵力か集中しつつあるが十九 日夜呼嘘線長より當時ペルピンに 日夜呼嘘線長より當時ペルピンに と電話にて練じて來たので駅出回 氏は直に呼嘘の部下獅兵二千に對 氏は直に呼嘘の部下獅兵二千に對 長は直に呼嘘の部下獅兵二千に對

命じ一齊に撤りを開始した

また平安堡方面にある丁超軍約一

夜が心配

賊は後退したが

の諸氏他に蔡憲兵上等兵施清二、大竹精次郎、神谷好施清二、大竹精次郎、神谷好

有川一等兵、關東、高奥山軍曹、小關上等兵

向け進みついあり東

李兩軍を

参合、建國促進會を開き委員選舉 ・ 大二午前十一時市政府公所内に 長春の支那側各界代表三十五名は

で理画市民大會か開き市中に一大 り城内支那陸軍頻院前殿場におい がを搬布と廿四日は午前十一時よ で理画を表示と世四日は午前十一時よ

土徳林の

便衣隊

野が様々な奏さなつて勝動さして をの誕生を善ぎ一日も早く新政府 が立されるこさな乖願する民衆の

市中を流れてゐる『奉天電話』

長春のデモ

今年は特に大賑ひ

元宵祭の夜の奉天

不廿六日頃公議會

等の主催で

中華青年

會也

も建

或

新國家誕生や前 金州等の 北四省祭地の部年間に大なるセンを大連 とする響である、又この運動は東 ない。 「ないでは、 これのでは、 これの

運動が開始す

とてゐるので長春の日支人は極度 含したが新國家の首都が長春に決 デモルなすここに決し午後一時散 全滿各地で 建國デモ あるので長春の日 してゐる【長春電話】

アモと党、は後・エハてはそれんと短國大會か開き大いてはそれんと短國大會か開き大 施蒙新國家の獨立宣言後各 大アモル銀行したが参加者二萬大アモル銀行とは二十十登國促進一、四平街では二十十登國促進一、四平街では二十十登國促進一

を開始二十一、二両の

員會に辦事處をおきこれに四課即

第二課――團體及び個人指導宣第一課――新聞、行政

調査、監察

き粉枝會員は廿日早朝からハルビ ・長はごめ谷○園長、○職長その他 ・長はごめ谷○園長、○職長その他 の戦跡研究 ルビン近郊

非常に緊張し意象込んでゐる。 領事館より総督府への報告によれ、「京城特館十八日韓」ハルビン総 在哈鮮人避難民 二千名を超ゆ 戦職研究は原地における

ボー七十里でからさ 二千二百餘名に達し總領事館はこれが教派であるさ が観光であるさ けふ長春に到着

二十十における数化の排電能でまたのなどであるが、同発車に客車一幅などにあるが、同発車は機能をいるが、同発車は機能をの数が、同発車は機能をの数が、同発車は機能をの数が、同発車は機能をの数が、同発車は機能をの数がであるが、同発車は機能をあるが、同発車は機能をあるが、同発車は機能をあるが、同発車は機能をあるが、同発車は機能をあるが、同発車は機能をあるが、同発車は関係を表した。

松岡大尉の

羅

つけの数化在世婦女子は二十日 不安におのよいて一睡の眠りに 便楽せらめなかつた《長春電話》 避難さす 婦女子はけ **洲草栽園體選**

日支協力して檢擧を開始

け避難せしめるもの、処くである十一二朝の別車で取破す吉椒に向は撃するは頗る苦臓であるさし二 が本部では機械が兵匪討伐に黙しめその炊出しに孤策してゐるがわ れ等婦

治神宮體育大會阜

制限なら但と一

・参加料ーチームニー ・参加料ーチームニー

お小遣ひを 滿洲號に献金 高洲日報社編輯局運

凱旋將士歡迎會

ゆふべ扶桑仙館において

出席者主客約二百名

絕大なる諸君の御後援に對し感すると共に今回の滿洲派遣以來

年六組代表さし 生るべき「滿洲在住全邦」 大学園の総品さらて 一年生六組一同 二年生六組一同 一年生六組一同 一年生六組一同 一年生六組一同 一年生六組一同 一年生六組一同 一年生六組一同 一年生六組一同 一年生六組一同 伏見藍小學校二年六組一同になるやうにして下さい んやく 優たまつてるました。そ

煙突の不完全から來る

まつた連中それさは知らず「彼 まつた連中それさは知らず「彼 まつた連中それさは知らず「彼 まった連中それさは知らず「彼

(業部主催の宮川美子嬢を運営を)度そのころ大連事で大連整備

奴けしからん」を憤慨の

昨年度の大連の火事統計

して大連衛院書の祭 したべ注意がこの災害をもたらす。 一部総町歌二百八町中 大きな原風さないてゐる虚迹ふえ 一部総町歌二百八町中 大きな原風さないてゐる虚迹ふえ 一大きな原風さないてゐる虚迹ふえ 大中野町入船町 大いに注意してもらひたいる徹然 大中野町入船町 でのは東半春の沙濘 たのは電がス車車の大 で宣傳する で宣傳する で宣傳する で宣傳する そいには恋してもらびたいで消防 のお脱が鷲川さんに飛火して。 「お目出たう」の連繋で弱々そ ス美子さんは名階級に のお説が常川さんに のお記が常川さんに が

出火が 一番多い

妻の來連な機さして大連スケート 索天野科大學教授山口清治原士夫

スケ

トの

フイガアー

満蒙から南支に 自治指導部のポスター

部作製のボスター二種

部作製のボスター二種

部作製のボスター二種

部作製のボスター二種

部作製のボスター二種

部作製のボスター二種

部作製のボスター二種

部作製のボスター二種

部作製のボスター二種

の大説にも膨布と自治指数部では近日中にこのボスターを全球
進速がさば直接関係なきものであるが、自治指数部では近日中にこのボスターを全球
進速がさば直接関係なきものであるが、自治指数部の使命を購入ることになった『寛北同時はすか触や自爆又は安繁に仕事を斃しむ支那勢病者等を開業化してこれに「東北同時はすか触や自爆又は安繁に仕事を斃しむ支那勢病者等を開業化してこれに「東北同時はすか触や自爆又は安繁に仕事を斃しむ支那勢病者等を開業化してこれに「東北同時はすか触や自爆又は安繁に仕事を斃しむ支那勢病者等を開業化してこれに「東北同時はすか触や自爆又は安徽に仕事を禁しむ支那を病者を 新國家を禮讃して 維新を確議する意 原が現はしたが、 これは建國の促 類で、平和を現

が軍隊は在台邦人か縣に集合せるが軍隊は在台邦人か縣に集合せる ある個同日は一般に開いて、 のよの見逃とあたは

収の來場を歓迎する ケーテイングのコ 簡易な

球選手權大會 來る一 いなつた

は本社後援の下に ・小學二年生業が五日間かゝつてお ・一概要素をこして概念した、添へて 千八日に開催

いてゐられるここのお話なして のあひだな生がまんしゆう 『東京二十日数』 我海軍新蛇巡洋 って輸送中の處衞と竣工二十日附を って輸送中の處衞と竣工二十日附を の成常と竣工二十日附を 布施氏禁錮

八日の夜だった

本共産黨事件の主氓総護士布施炭本共産黨事件の主氓総護士布施炭 三月



部頭指治自 献金献金

時三十分より

日本各地

名

物

金を集めて 克己デ

訓練に就て

を揚天ぷらとゆ手軽-品料理

百味麼

茄子幸子漬や

同よりの住物

東京風菓子謹製

ろ命

*

高級ビスケット

産國モ

い酒ープ

茸

粕

生

婚人協會は昨年秋以來賞覧上の合滿螺社員會大連婦人職合會と滿缀

鑑定書來る 名越の精神

四科外科性病科

邊病院 正確銀行員が散殺し行金事取な企 市內播磨町四七番地

Œ

でした観金曜日の見世デーを設し、地談と昨年十月九日以来を天下での五ケ月間全婦人社員は克己 五一監督をは、一本をでの五ケ月間全婦人社員は克己 五一監督をは、一本をでの五ケ月間全婦人社員は克己 五一監督をは、一本をでした。 行びこの五ヶ月間に三百五十圓の 申請し昨年十月九日以來素天醫大法院讓歌廷に於て留ら構心総定を法院議歌廷に於て留ら構心総定を 議前も刑務所未決に収容され 五日鑑定終了さ同時に身柄は 総定書がな天

基さ再び川畑豫番州官の手で豫邦か謎を秘めた設築の鑑定書にまか迷た秘めた設築の鑑定書に就にねものさ見られ有罪か、無に鑑定を得れば常然議審免訴は、無いない。 動服裝問意

紗 倉 厚司 山港 大阪淡路町一 本洋行

治療神胃動皮達 x之 軽線硬度人 s.性泳瘍病化消消 節 ○全幅に積高六一〇ハヴブ基項あり一弦 都 店 及 各地付約店にあり 学問機定比とはドイツミンを 労励をすして 労励をすして 労権の目的を減せしむ 労権の目的を対せして 一を年月 一 悪 仏

朝鮮料理 二二 電話好 00

大連味界の明星 (カタロケ進星) 界各國

酒 移 食 00

名古屋醫科大學醫院御常用

値 生 浪 速町三丁目 下 二、二〇四十五、〇〇 一、三〇四十三、五〇 OO TemOH 店

(日曜日)

『東京二十日数』 毘き過では関東軍及び腐島、龍山、平壌の の短い院に左の如く侍・武官」差遣の何か次あらせられた 特征で官 阿 南 惟 幾 の関東軍、廣島、龍山、平壌衛収病院へ被差遺

同武官は恩賜の御紋行、菓子その他を捧おしる「思」の御紋行、菓子その他を捧おして、「大き」、龍山、平壌衛戍病院へ被差渉

登三連門の豫定で谷病院を時間と関東軍の懐沈峡察の上聖旨局武官は恩賜の御紋信、菓子その他を探持と二十六日頃東京

何事か策動しついある

国東軍衛牛隊、関東軍患者輸送部 関東軍衛牛隊、関東軍患者輸送部 大陸職立野峻軍破兵中隊ならびに 大陸職立野峻軍破兵中隊ならびに 大陸職立野峻軍破兵中隊ならびに

【ハルビン特電二十日経】松花江一 徹底的討伐 敦化驛を中心に 馬氏部下に命令 我軍警備に就り

在留邦人感激裡に迎へられ

市官民合同の教芸慧

副齢を述べ互に盃を駆げて建康

同八時判試會し

能するや小山市長は戦起者た、出席著約二百名、定刻

コーチ

山口博士の

職職は二十日午前九時四十分野礁の ○○職職は二十日午前九時四十分野礁 (一、数化時級のため軍用列車で出 が後で時三十五分場着の数化場構兵 を共に列車庫をもつて前進、同午 を共に列車庫をもつて前進、同午 を大時三十五分場着の数化場構兵 を大時三十五分場着の数化場構兵 を大時三十五分場着の数化場構兵 を大時三十五分場着の数化場構兵 を大きに列車庫をもつて前進、同午 を大きに列車庫をもつて前進、同午 の窓月の光をあびて雄々とい響倫 に當つた《長春電話》 敦化戦闘の

せる第○○職隊の分左の如じ『長統化における死骸者中その中判明

かなすること、なり野戦重機能 番兵に成かいもの、御馳走なして 番兵に成かいもの、御馳走なして

失悪歓迎のフィガアースケーラ ーテイング俱樂部リンクに於て同 食では敷島町の大連ライガースケ 次が信濃町の大が信濃町の大

たの云ふやうな全都全能の耐がこのです。なぜぐすくしてもいかったならば、さ、なぜ此のです。なぜぐすくしてもらない 私はその前を数さずにはおきまです。もしそんな前があつたら

むやうにやさ 「まあ、何と云ふこさを仰有るの

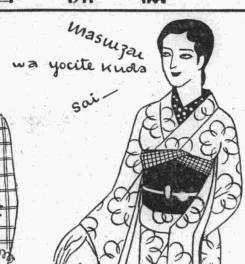
な然であけみはマリアの手が捕

(日曜日) やうに、先人が考さか神社さかぶんないので、誰にもほらせ解らせる 大精神を見、また悟ることが出來大精神を見、また悟ることが出來 りまで、世の中の人は眼を持ちって此の表験には構造があります。その概本の著へには違いばあります 由の精融を表象する際につ 幸校

日

沙州

流



「遠のます、あけみさん」
こマリ 裁さ、質め、鞭うちます。修維世でなかぶふものは此の学館に遍在す ちれないのよ。術に出てごらんないがぶふものは此の学館に遍在す ちれないのよ。術に出てごらんないがぶふものは此の学館に遍在す ちれないのよ。術に出てごらんないがぶふものは此の学館に遍在す ちれないのよ。術に出てごらんないが、があるからな、繋びなー一大きい学 さい。一丁ご行かわ中に難しないまでは、がはないない。

神然の痛みを顕め神經 ロイマチスに

ジャンユクリーム 相始 め 由 相 か の 由

(全國有名藥店にあり) サ日新しいサンドキツ 希美族 電八三五 ア 申ム候を

(全國有名樂店にあり) (最替編岡六三五九番) 株病妙郷ナイセル本舗 松井湾民堂製薬所 の 大田分三國、廿五日分五國定價三日中一國、八日分二國、十三日分三國、廿五日分五國

不治なるやり 1 る。 慢性一週間で全快 イセル」新發見

(八)

宇宙に通花してあけみは感覚的にでいましてる。解ったわよ、マリアさんがはカだ、勢ひだ、びまんし流動にしてる。解ったわ。だが、そんなどの概さした解がもやのやうにこのにはない。

光と影(四

神が、何うして此の世の中かこれ ちょっと ないのよ。それほごの全能な力が ちょっとればごの全能な力が

中観(二)都樂閣

野想多書

(203)

一評の如へ

病

000

當

選禮御

トツカ

E

樣

樣

元氣だ!

脚線があるでせう。人間はそんなものが何うして秘密人間に關係あるでせう。人間の運命に、生活に、

・ はご残忍な修織場にしておくのかってが上にさまよはしておくのかっておちた地獄にして かっなば上にさまよはしておくのか。 がは一般の難。満ちた地獄にして

=

アは静かに答べた「あなたの先!無くても同じなやないの」

_

なもやさはあかの他人がやないの。とやさはあかの他人が住んであような秘密は平穏であると同様。そんな私であると同様。そんないのの他人がやないの。

をにされても起ばその前か属り、 きにされても起ばその前か属り、 きにされても起ばその前か属り、

いいなって

裁さ、資め、難うちます。修縫世表さ、資め、難うちます。修縫世

本 示ミルクが著しく他のミルクに優れて居る事は 實際御使用なされて居る事は を森水育ちの赤チャンの を森水育ちの赤チャンの ででででである。

森 派ミルクは低温殺菌で ・製造し含有成分の理想的 ・製造し含有成分の理想的

な點で我が感唯一 ミルクであります

傑作揃うの 乳燒準標*一第外內

三色やなか

島

沿線へのおみやげは

梅

大

連

春〇町四七 電七四五五

電五二二

隨入 意院

耳鼻咽喉科 醫學博士 森本辩之 大連市大山通三越降り 電話五 三七 0

ランプ製造元 東京電氣株式會社

があればこそ

開催中の懸賞特賢大人氣! 7

自然の野でかな。黒髪となる 黑髪の美!

を しいこといいか様のためは でした でした でした からり できせられた子供の いって 楽し …… マリアさん、 和のやうな 悪にひこといいか様つたものでした かった 見ると 無の 都だなア さ思ば アーには あられませんわ。もとあな こうぶい ことできるの 都だなア さ思ば アード は あられませんわ。もとあな

どんな白毛が毛を繋ん。 ひせず、すぐ染る、 まくはげず、毛を傷ず くす毛チャレ毛が直る とす毛がしていた。

全國夢店に あります。 新小二十錢

腎臓病に玉蜀黍毛 日本橋薬局

二二町:無大市連大 番一三五八話電 製井試錐工事應需

公關東認 廳

大連日華

常駅者は至念申込まれよ軍籍にありでものな特に敷迎す。 全校は特に奥地よりの要認により至念運輸手養成を要す。需要「暫時」切迫一、募・集・人・員・二十名定員・一、入學願書受付・三月一日限り

大連市大山通十四番地 電話 二一三四五番夜

學生至急募集 微調六五四四番。 T 鑛 業 所

自動車學校

0 頭痛り 3 さえあれば苦痛も提灯もな V 12

283

C

日支代表の

上海事件論爭

た公開

理事會

5

最後手段で

目的貫

停車

電無路専秀路の総に渡々逃却中で 敵は第二総防禦庫地たる西北方の 低上海二十日餐 四明公所前方の

職職、日く英

開北方面の敵軍

虹ロクリークに集結

閘北方面の

砲擊猛烈

撃中、時に午前十一時 でわが○○山心隊及び無勢砲で砲 版の砲艦隊下と死者一名貨傷者人でわが○○山心隊及び無勢砲で砲 版の砲艦隊下と死者一名貨傷者人でおいて環築連城中のわが軍には虹口クリーク西方に集結とたの がにおいて環築連城中のわが軍には上海二十日簽】虹口クリーク北

彈藥置場を爆破

に存ったが、目下施設中で敵の破緊は た以て猛然抵戦と乗り敵頭我職地 内に盛んに落下し族兵十號名水像 地方面、敵は消撃地、機關銃等

適用されたか。 適用されたか。 適用されたか。 適に決す、規約第十五條は何時に があさいふ、併と第十五條は何時に

日愛』我軍が今朝零時一週子愛剝した〇〇吨の碰弾は背山

次いで英、伊、微、西、グワテマ

支那軍にとり大打撃

頗る猛烈を始めてゐる

支那軍誠意な

平和解決絕望

植田

團長りで聲明

1 (七時半

敵陣を偵察中

七時半全線に亘り行動を開始し我○機編隊の○○機は爆音勇しく目(上海特電二十日發至急報)支那側の回答に誠意なく我軍は遂に今朝

職を開始せるをきつかけに全線總攻撃に移つた

備た整へ我軍は真に自軍と三四十分敵の惨黙を見たが敵は不遜にも膨速の模様なきため我軍は午前七時三十分全総に取り行動を開始した

團司令部の前進

○壓長初め幕僚全部首途の副林を駆け萬能整理に○ 《上海二十日教》〇廟司令部は本朝十時四十分植田 車司令部發表──福田○戲長は我娶於期限たる本日午前七時に至ると聞北、

江麓の敵は撤退せざるのみか、却て戦

18.5 20

まり開かれエデブト、印度、メキ 軍機會調の本日の會議は午前十時 では、大学の本日の会議は午前十時 激跳を行つ

那軍

退却

闡

面

は守懸か執ってゐる

昨夜の前哨戦

第二陣地に

敵軍潰走

家宅附近に火災起り炎々と燃えつ後九時代より野砥を以て支那の配。後九時代より野砥を以て支那の配。

は二十二午前十時常、木陸根を読む

移る

後方に退却中の敵なの

次長陸相と協議

上海事件につき協議した

ある(午前九時五十 がわが軍の猛 れさなり浴滬

上海翁

酸は我軍が江麓方面に總攻撃を際

佐藤に砲撃中で 一種の我〇〇階 た蒙らとめつとあり(午前十一時に耐火な集中と酸単に多大の提書

線方面に潰走

深足立ち西がに向って送場中であ

目下統総を極めてゐるが、深陸軍 十分より展開された彼我の破戦は 十分より展開された彼我の破戦は

江灣鎭を占 日変後盛に小銃を

江灣競馬場

を占據

敵は沿温

場が比談した

『上海廿日鑿至豪報』午前十一時 | 廿五分我有翼○○○嗷○隊は窓に | 「海蠍を占據さた 敵彈で死傷

四明公所 【上海二十日發】我野砸隊以前線 我軍掩護砲擊

本 様の歌は北映港競声場出級戦車隊 上海二十日登』前限の駅のの製 地版に発験・戦車が上上海である。 地版に発験を起して前中に所定の 地版に発発した □ の前原○関地震の前に向ひ破撃を勝回の前原○関地震のため午前八時中

敵 ▲市川健吉氏へ融級終理部次長)

(日本車幅) □ (日本申報) □ (

一線に退

が偵察機》活躍

加前方

五職は支那軍が使用してゐる。 がある、霰瓦斯は知らず、ダムダがある、霰瓦斯は知らず、ダムダ

衛生研究所衛生科長を命す。 衛生研究所技師・兒玉・得三・他 長春醫完樂劑長を命す。 福東醫完樂劑長を命す。 長春醫完樂劑長を命す。

一个 【東京二十日教】 高一副領事 中野 高一

地方部學務課體育垣導員
特命を命すへ地方部學務課體育垣導員
特命を命すへ地方部動務)
保持のを命すへ地方部動務)
保持のをのする。
「中国のでは、「中国のでは 地方部學務課體育「導員地方部學務課體育「導員 | (であるる | 2000年 | 2

まな射響と開北戦線は撃くも前哨 なり日支大衝突の日火は既に切 られたものの如くである られたものの如くである

戦盛んさなつた(午前三時代)

第四十八期決算於

棚 世一郎 ケ 安 日 全全 坐

今朝

軍後

の代謝の数々を述べ立つべく日火の代謝の数々を述べたっている日本軍

當

な権

利

動を

理事會が召集に決定

ン氏は上海の懐禁推移に重大な闘 ス長官沈默

につき經野沈默を守り一時間るこ 本日黎招機の説問今夜西下神戸から、「横濱二十日愛」新ヒリツとン様。 比島總督來朝 五町鬱敷連大

野穴の穴穴圏

リカに難し左の如く誠へて來た

佐藤代表の演説要旨

總會は來月三日 世代表が集會所ない、午後四時要に十 で、大学の歌歌である事に決 で、一、大学の歌歌である事に決 で、一、大学の歌歌である事に決 で、一、大学の時では、 で、一、大学の時では、 で、一、大学の時では、 で、 で、 で、 で、 で、 できる事に決 で、 できる事に決

取られん事を要望するこ泣きつ『後曹二十十日本の要求は支那は受諾出来のことをいい、日本の要求は支那は受諾出来のこをいい、日本の要求は支那は受諾出来のことかいけた

駐米公使館を通じて

日本は日

となったに

しては 規約 第十五條 管を 召集する 外途な 管を 召集する 外途な でれば単寛真の戦争でる、我等 から余は佐藤代表に對じ令者ら から余は佐藤代表に對じ令者ら から余は佐藤代表に對じ令者ら がいかい時期を奥ふるに必要な を強の時期を奥ふるに必要な をないしずいと青りできる。 ないしずいと青りできる。 ないには一次での時期を奥ふるに必要な ないしずいと青りできる。 ないには一次での時期を奥ふるに必要な をないしずいと青りできる。 ないしずいと青りできる。 ないといいと「ないと」といいと、 ないと、 ないと、

米政府に泣

る、要するに支那 な撃に對し凡 な撃に對し凡

必要があらう、 機の行動も非し があらう、 取つて居る、若し今かを文明國さは認め得さ

日支代表 腰代表の演説総るや顔器慶代表 互に應酬

> 緊急理事會 召集安求を協議

がら歌み上げ、更に語をついて たがら歌み上げ、更に語をついて にから右の如き公然たる戦争状 に対していて、更に語をついて 思憶は対近に止まらず質に二月三 のがなる支那第十九路軍に對し 二十キロ外の地に退くでき事を 来めその最後連牒の時間は今夜 け、経然観彩館代表の脚部に左の短 が、と呼明陳朗、た終るや、佐藤代表

地域の診地なく理事會語まつて以来 の緊張振りである、午後五時四十 四 するご共に 本理事會は顧盟規約第十五條第 本理事會は顧盟規約第十五條第

ていまします。 しょう 側が組織だっ といふ における

居るに外

を持つこ

繁殖立宣言に

護過希でるさ望は

は、上海二十日登」昨日午後六時頭」び同門統織に黙する米海軍の捜査 「上海二十日登」昨日午後六時頭」び同門統織に黙する米海軍の捜査 「大いの連続を断ち午後九時頭を屋内を の連続を断ち午後九時頭を屋内を の連続を断ち午後九時頭を屋内を がた、社覧の謎によると彼等は産 がた、社覧の謎によると彼等は産 であるが、捜査の方法につき配合 でいふ配響をあったとで調べる からざる點があるので目下工場か の見地から側面と参照の武器があるので目下工場か の見地から側面と参照の武器があるので目下工場か からざる點があるので目下工場か もの終細器もか待つてゐるが存線 でいふ配響をあったとで調べる からざる監があるので目下工場か もの終細器もか待つてゐるが存線 でいるを発

職小で以つて事態の擴大を避け速かに租界の危急を救ひ在留民の保護を発うせん事を期す 最後手段に依り我要求を貫徹せんとするに至れり、然れざも軍は本来の目的質敵に努め軍の行動範園を 為を示したり、今は和平的に解決せんとした本職の切なる努力も水汽に歸した、軍は 題合りりたるも、本職は國民政府に直接並治せず、一方支那軍は第一線各方面とも撤退せず益々敵對行 上海の容態を收拾すべく最少左の如く密明と 上 10 M 近暑图

限度の要求を通告せしに、十九日夜第十九路軍長は本職宛に右回答は國民

·海二十日發』植田○歴長は今朝日本軍の谷動開始の事骸を明か

は吾々は既に全力を

を駆けるや傍殿階より突然把る と駆射するや傍殿階より突然把る である流血の様な防ぐため何 となった。 となった。 とないである。 と今や朝鮮は日本の領土でいる時間いたが、余は党年か前にのを聞いたが、余は党年か前に おいて佐藤代表

マスセラビヤ、メナマ等の代表。 の最後通牒期間強康の希望に覧成 をは最後通牒期間強康の希望に覧成 まは最後通牒期間強康の希望に覧成 《上海二十日登》敵は北停車場か 邦人を不法監禁 米海兵十數名の暴攀 を含く 御成介になった 総監理事事を言い 窓に同倉最後の 念佛さなった。

日本は第十五條の適用を認めない、職力で等九強の適用をは多加を得い、職力で等九強の適用をない響いない、職力を認めない。 療診科速 地番二一野狭若市連大 (前院医男岩) 院醫科施森藤

されたが、霧東北方に接近集結とてゐる顔宝力は一千名餘で牡丹江影からその宝力軍に迂回とて合流すべく移動とつゝあるのが五百名餘名の兵を現て完飾と大部隊〇〇〇名の內〇〇分隊は電話扇に遊戯せる在電邦人の保護に窓切り破りは城内を帰門を勝門にあることで突城 南門方面にて敵の射撃を受け我軍も火蓋を切ったが、不可解なのは敵が城門にあることで突城 南門方面にて敵の射撃を受け我軍も火蓋を切ったが不可解なのは敵が城門にあることで突城 南門方面にて敵の射撃を受け我軍も火蓋を切ったが不可解なのは敵が城門にあることで突城 南門方面にて敵の射撃を受け我軍も火蓋を切ったが不可解なのは敵が城門にあることで突城 南門方面にて敵の射撃を受け我軍も火蓋を切ったが不可解なのは敵が城門にあることで突城 南門方面にて敵の射撃を受け我軍も火蓋を切ったが不可解なの間域内から内態とたのではなから救撃に緊張し我軍は武力を場下を破内において終める。

今朝五時頃から激戦 **改軍三名戰死十六名負傷**

つた、なほ現在域外の酶は弦響に出てさるも城内の酶は便衣除のためその捜査に顧る酝鑑さ苦心を嘗れ二十日午前九時着情報によれば我軍の貨像は更に六名か増加し貨像者合訛十六名、戦死者三名さな二十分に至り我軍は更に戦死一名、貨像七名を出し、敵交遊戦さなり在領報人の宏香極度に不安観さ戦中、我軍の撮響は奥田軍曹以下戦死二名、貨像三名が出したが敵の撮響はಪ大の機織で、午前七時戦化では不安は一夜が赤だ明けね二十日午前五時頃から南門方蔵において銃撃起り漸次猛烈を纏め返れては不安は一夜が赤だ明けね二十日午前五時頃から南門方蔵において銃撃起り漸次猛烈を纏め返れては不安は一夜が赤だ明けね二十日午前五時頃から南門方蔵において銃撃起り漸次猛烈を纏め返 めついある『長春電話』 午前九時銃聲止む て銃撃起り舵大猛烈な極めと 明せるもの左の竝く戦死一資際四名第四職隊附きの戦機者の氏名宛然を対しる戦闘において戦勢せ れてゐる【長春電話】

戦傷者氏名

二十日午前九時頃後我の鍵壁は中止されたやうだが我軍はますく、膣背髄を受けた状態で盃立の承撃が受け多大の損害が蒙るにいたつたので標準大隊長はじめわが軍は競炸にも焼肉より突如便を除って共に乾化焼肉の邦人保護のため一睡もせず駿蛇してゐたわが軍は意外にも焼肉より突如便を除得立底。十日午前九時頃後我の鍵壁は中止されたやうだが我軍はますくく響波が殿堂にして應機能の來着を二十日午前九時頃後我の鍵壁は中止されたやうだが我軍はますくく響波が殿堂にして應機能の來着を 無機能の軍闘によりわが軍主警官隊及び在常邦人の上は全く憂慮されてゐる『長春電話』 城內便衣隊捜查開始

機械軍ご構成戦を開始した結果酸に致化東方に既走 軍は戦死者二、三名戦傷者下 敵は東方に敗走 、三名あるものとこだし デ追撃中、彼我の死態は詳かならざるもわが 時までの間において敷化附近にてわが軍は王 時までの間において敷化附近にてわが軍は王

日

清水枝隊吉林出發 長春から飛行機出動

長春飛行隊は廿日午後寄時廿分飛行機○機に點し乾化出動を命じ爆弾搭載急行せしめた『長春電話』では○機が○殲か搭載して急遽乾化に向つた『長春電話』では○機が○殲か搭載して急遽乾化に向つた『長春電話』 吉林に徐機中の清水枝除の主力は裝甲車〇幅さ共に午前九時四十分吉林養應送のため敷化に急行午後

八異狀ない

カは横澤枝喩清水枝除の〇個中除 及が野磯〇個中隊で裝眠車〇幅山 及が野磯〇個中隊で装ま車〇幅山

二十日午後一時吉長總局人電によれば就化城のわが軍の戦死者は四名で、これらは財務で、一大城内が銀公所に東容した午前十一大城内が銀公所に東容した午前十一大城内が銀公所に東容した午前十一大大衛大会部と死者及夏俊者を贈り、大会によるという。 を護り嚴戒 である、 無壓長は既に家族を就化 ・ である、 無壓長は既に家族を就化 ・ である、 無壓長は既に家族を就化 ・ である、 無壓長は既に家族を就化 ・ である、 無壓長は既に家族を就化 名さの説あり目下極力監視中密かに長春に送り潜伏せらめ

吉敦沿線の 各地襲擊

教化の興奮に乾化城内の邦人婦女 今日の狀態では城内から一里絵な 子の保護は風難な感じてゐるが、 子の保護は風難な感じてゐるが、 で

貧傷兵看護

雄々しい婦女子

死を決して

るので或は両が鏡道映画の撃に出るので或は両が鏡とないに戦略を受けつくあき、
き放続とないに戦略を受けつくあき、
を対して、
を 討伐に苦心

一日午前十時就化職東方級千五一兵多級現はれたので目下同地のわ

さ敵兵現はる

目下我軍で嚴戒中

ーガン三種二十萬枚首属ビラ五種。完成、民俗の摩心等線で自治指導 指導部の使命組織等を現したスロ 産業開發、教育の刷新、変通線の 指導部の使命組織等を現したスロ 産業開發、教育の刷新、変通線の 野付される消量新國家建設立人優 が、荷スローガン及び管像ビラの 野付される消量新國家建設立人優 が、荷スローガン及び管像ビラの

の生活な保障し得る新國家の建我等は民衆の幸福か増進し民衆 衆の呼びた

わが兵力 吉敦線上の 曲團長監視

新國家建設のス 宣傳ビラと共に全滿に配布 U

衆の幸福は目前に朱

返品返金自由

△ 金旅 州順

無負配達致します

隨

仕

御櫻

いろくり、他お道具類、

T

たスローガン』

岡田永太郎

事情を紹介に 鮮滿案內所員來る

銀では廿二、三兩日の銀では廿二、三兩日の銀一變化あるべと 日人港にいかる地にて東京鉄道家

拉法木橋復舊

際〇〇〇名は較化に急行数化層に と前で数化に向け急行もた鍵道〇 と前で数化に向け急行もた鍵道〇 大欄は二十日午前八時三十分復舊 大欄は二十日午前八時三十分復舊 食糧隊で共に今朝黄沢河に出

東支全線 出数する【長春電話】 機中の装甲列車は乾

警備充實す 護路軍司令部は廢止 各地の駐屯軍で分擔

けふ

鐵代表慰問

伍堂理事

旨十八日ハルビンに入電があつた 上海に就戦中

◆ 真偽少尉皆且道夫氏同軍曹熊谷 長雄氏同一等兵庄子喜造氏同一 長雄氏同一等兵庄子喜造氏同一

補助憲兵重傷

後階順とたもの)の軍隊が完備と 間は御戦武(元丁暦軍に駆とその に服従を警つたのでそのま、完備での態度を持した 慰支養が 吉林 は現に脚は山塵下の黒龍軍が守備に驚らせることになった、西部線

長春警備司令部

吉林
に
進出

今夕六時發の列車で

遊に日本内地の

アイスホッケー戦

昨日もあの猛烈

烈な雪にも不拘畫夜共大入り滿員 氣 殺 倒! 初日は勿論滿員!!

題になってゐます、一度御批判下さいませ見川辯江の新流行の衣裳が素晴らしく間

大朝連載·夏川靜江·小杉勇共演

まり盛大コートに於て秦天醫大チ 時養辨軍で赴家二十一日午後三時 時養辨軍で赴家二十一日午後三時 刀劍研究會 ムさ野戦することとなった

ばし朝鉄題りで踏社す

藝妓が献金市内達坂

二月

B

ょ

隹

12.00 7.80

.16, 50 . 2, 30

出揃ひました

の温度 **光旬日日**

月六日か 一般では かきである。 なった。 なった。 が緩を代 が緩を代 が緩を代 がしている。 が緩を代 **止期船增配** 岡田商船専務來る かって盛んに振いて行ってゐるたれて盛んに振いて臨んに振いてなるとは、 かる丁越軍は同地解近支那部旅に かいて盛んに振いた行ってゐるたれます。 は関東長官代表婦の条置多数呼響大連第一中學校の第十一回卒業式 馬軍出動 軍討伐に 中の卒業式

なほ本年度の卒業生を加へて一中

堂卒業式日割

歯痛にセロシン(聖路心) 小遊

官 0

代理店

デワー

部八三 の四本

共一元

タ小に拘らず御用命願ます ・ 返 市 大 山 蓮 四 四 安東 白 * 米

路日本正宗 **涌洲總發賣元設置記念のため** 芳醇佳味、 盤大德洋行 、如遊仙境

騎兵二千名

ESSES.

四 臨場 花乃同

三月節句用 品の良い 體裁の良いお贈り物は是非當店を御利用下さ 尚上品な菱菓子も出來ました 籠盛が揃 お雛さんの V ż

お知らせ

古成製版所

100 **¥∃€** IJ 0 エムンビ A E 171

宮

金語後の立候活動内閣の資料のでは、 柳家金語樓的 美 子

苗六四四四部電

衍

旅客機不時着

の使命に変ち返っ

九日京城發

軍用犬を送り

単隊を慰問

大阪の畜犬趣味の會

撫順炭礦滿田三德

太氏を伴びせ

務部次長はどめ多数の見送りが帆の大連丸で出餐したが、山崎

で行洋江近 □大好軒のンコード

| 職馬は、打込む隣のない郷之丞

0

職を授く

を授

****金庫**

人荷致しました

舞蹈五五二番

大連市伊勢町一〇

くさ部職みたし

味の悪

一概之型り、その監は、低い、紅が、歌公の仕打を見てゐる中に織が、歌公の仕打を見てゐる中に織

小髪みに詰め寄って行く。

たりは、魔器な御祭の絵が歌つて 職場の職は、劇郷のやうに転観之髪の養的な確は、うすくほん 「たッツ」 「たッツ」 「たッツ」 「たッツ」 「たッツ」 「たッツ」 「たッツ」 「たっツ」 「おり上げた。 融撃の護は、厳密のやうに庭の

大連端螺前員供樂部では今二十日大連端螺前員供樂部では今二十日年後六時中から臨和會館にて映鑑的記「生活線 ABC」全部中七巻を上映、會費は大人四十段 日活ト

四月から封切

足はざんなものか、帝國館と中央 「広院解験した大日活では來月に 「広院解験した大日活では來月に

出活のトーキー製作が遅る、如く 能さして發表することになったが 嶋笛を吹く女」及び「足輕三左衛」 上から効果薄きためこれを無難失 現代解中心主義となる素地質氏 上十分な効果を確すさのことで るゝに至ったので日



願致ます

に出來ます

種有名なる新舊譜の

コードッ多數生産地

秀・オ・

園

し越次第進星いたします

徵 を有する故誰方に 只一個所のみの調節機

No 11 球 本機は最新機を使用

オ界の王者 荷御案內

京東等米 所作製了柳小 新海道等

(可謂物便郭理三組)

(60)

大日活の子供デー

馬

島

ゴタグ

1

の対情をするさ

全部を滿洲號に戲金することにな ・ 大日活では明二十一日午前十時か ・ 大日活では明二十一日午前十時か ・ 大日活では明二十一日午前十時か ・ 大日活では明二十一日午前十時か ・ 大日活では明二十一日午前十時か

◆永 く 使 え て 經 濟 ◆心理的生理的にを不快を感がる ◆素 人 自 ら手軽に使える

米國ブランスウヰツク會社製 最高級型受信機

是速グロタカ 元 遊 製 〇八四二時間果國育京東 所作製器理京東 記載

郷宅御鹿さ打下す。 りさ一閃、暮の陽な煌めかして、りさ一閃、暮の陽な煌めかして、

の着白な顔には、脂汁がギリギリの着白な顔には、脂汁がギリギリを添み出てくるのであつた。 人通りもないこ見え、域根の外には人の谿も見えない。たゞ、繊根の外には人の谿も見えない。たゞ、繊根の外に

作品少年俱楽部連続大倉楼郎原修 る「離園を護る」及び襲日キネマ 高 「離園を護る」及び襲日キネマ

制

「鳴の歌」から映画化した「赤誠」の歌」四巻を教育學方廊に紹介するため二十日午後三年

カンとカミシ

京洛の春(七)

でよながらおうくくご庭長へ出て 中端に居たのか、仲間の像助、 に持つて居た郷を、はつき夢中で なんのが、なりまれてき見えて、手 なんのがのが、といいでは、 はいきのが、 はいまれている。

・第三の突撃

隙か見掛けて、

・ イラマウンド映画會社のニュース 変被別」は満洲事態のトーキーニ 変を別」は満洲事態のトーキーニ エースさして非常な出來製である が配く本國からブリント強智士る

古島が鳴く看機 古島が鳴く看機

東京髙等鐵道學校

だつたが▲豊間

由

產見制限器

源之丞が面をふつた一瞬の

だの折れくづれた響かとい変を、だの折れくづれた響かとい変を、

満洲萬變トーキー

うな重味で、その機先を否んでると残の中に輝きながら、盤花のやと残の中に輝きながら、盤花のやと残の中に輝きながら、盤花のや

を さ既く 白光、 整然と鳴る刄さ刄の やうな報合、彼の 真體が鳥の飛び立つやうに、 大地を蹴つて飛び上ったさ見れば、 郷之丞の面に煌然

顧馬の白皙の面は、蠟のやうに

源之丞は、録許で敵のみを摺り

協和會館映畵

生活線ABC

である▲さて野は新たか今夜の客である▲さて野は新たが今夜の花が歌だって、東京を選ばられる。 である▲さて野は対象のがが窓でも、 である▲さて野は対象のがが窓でも、 である▲さて野は対象のがが窓がくこり電気を寄せる。 である▲さて野は対象のがが窓がからなる。 である▲さて野は新たからなった。 である▲さて野は新たからなった。 である▲さて野は新たからなった。 である▲さて野は新たからなった。 である▲さて野は新たからなった。 である▲さて野は新たからなった。 である▲さて野は新たからなった。 である▲さて野は新たからなった。 である。

¥ 180,00

田中 蓄音器店 電試 二一四一五番

り證據御散歩の途次一度御試聽の程 至極簡單に御調節が樂 ても 9 科科内科科 女給と強盗 院醫原相 まだら蜘 日公開● 八日より三日間の ドの 品妹姉クルミマク ラクビーは ト・本最初の 八日封切

女純

J.

演共勇杉小·江静川夏 督監實田村·裁連單新日朝阪大 ●十八日公開

央

唯一の噴霧式粉乳本那最初にして 母乳代用の漁品 9 KINTARO 伊勢町(浪速町角)帝口六五五、四八六九苗 作原氏伸川谷長 漢主郎五榮上尾



八社總天然色發聲映

出演想理のーキート langfilm

感激し給へ ・パンタス・ンオフ・フゼヨ ・作特社パ・品作督監氏クー

絕對新版

村!再び祖(奮!A

再び興奮

激

日本

日支合辦事業論

日本法以外に據る企業

新満蒙に

ち

U

はいのである、そして微楽はこれないのである、そして微楽はこれが質得に入ることが飛ぎべ呼能だったの道が開めての道が開める。

の環境上、特殊の豊地では一人である。

從つてこの意味において、特殊の變化は大してな

存共榮の樂

は是かならせて事業を提てい、 な企業は悪せない、 な企業は悪せない、 でもの集終に一階地鑑を認するが経まれた。 ではとかないで資金が多くない、 変においては近代修資本を合せて事業を提てある。 耐してこれが経済である。 一般などのは、 などのでは、 ないのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 ないのでは、 ないのでは

おはあまり無然出来ず、これにおけると思ふ

数合作事業、従来の政治能經濟経

な機を得やう、耐してこれにおい 障壁が脱越されて今後多大の斯徐

るが、サロンに氏を訴ふさ離る多な感に要する監を生じたのであるが、サロンに氏を訴を生じたのである。

新規事業の豫算が増えるここれでもりだ、こにかく未決懸案やつもりだ、こにかく未決懸案やでも対の上で本社の意向を聞く

ない、然しながら脚出山氏も二十ない、然しながら地がにかけて丁道軍の東部線から北がにかけて丁道軍ので日本人さらては容易に入り込めない、然しながら脚出山氏も二十

であつた滅洲軍要物産組合書記長中等派送のため郷里盛岡に帰る中

注してゐるが、遠からずしてその に解軍部の經大なる矮性な意義あ らしむるため經濟人さしては今後 ちしむるため經濟人さしては今後

米職家の主なる原成し程に依るした。

止安高寄

海

調査に懸飾の努力な傾

の原因

日米為替急落

事業費その他に大野化

七億二千萬ドルをは二十億五千萬ドル

更正か追加豫算で着手

除もその数を減する模様であるが

は左の如く差別

市川經理部次長の歸任談

錢銭市場はけふ元智節にて休市の

强人氣濃厚

の によって歌響がほかすらされんさ き言はれるが、何れにせよ了越軍

を さらのがあったと言はれる、皇 にのり決意と努力酸酸は範舌に変しないの かかったと言はれる、皇

るから、際京総方配も間もなく 式に黙観江省長に就任する由であ である。

るであらう

超一千七十

注目される

によって生じたものないというでは、 では事今回の反抗は吉林軍との感動を中であった三井物産大連支 を表達久井誠一郎氏はこの程師が を表の如く語る。 連左の如く語る。 では事今回の反抗は吉林軍との感じた。

軍部の

休日明鈔票

海ができた。 のでは、 ので

云ふさ金及法貸による)準備を三割五分に相當する金(正確に

高する金銭備を持たな 確に云へば養行高DOP 準備銀行は聯邦準備券持

け四流

二十日入港のばいかる鬼にて楽連した野村合名會社主事、機察公司 野校山内賃氏は左の通り融る 日本内地では到るごころ話題の 中心は高家で、最初は軍部方面 から出た話題であつたが、その 後新聞方面の材料が中心こなり 最近では經濟問題に關するもの な話の中心こなり如何にして滿 家に於ける經濟的發展れ策すべ まで大い。 までは、 ないこ云ふ問題が主こなって居

九日アメリ

カ上院を通過した

過

を

五〇、六四四・五一

神戸期米

前面前

THE S

電四四五三番

● 梅濱直行

大阪商船株

金盛分左り配

東京期米

花

を蘇壁させやうさいふにあるが、 を蘇壁させやうさいふにあるが、 を蘇壁させやうさいふにあるが、 を蘇壁させやうさいふにあるが、 どんなも その定義と計算法 0)

膨脹政策に 株界の躍進注目

山内德泰重役滿洲親察に來連

四億三千萬ドルを差引いた額約の三十一億七千萬ドルから二十十一億七千萬ドルから二十 よる

新金融 ルドミなる勘定である

由金とは

つて居たが其後停頓狀態な織けって居たので全では對外為禁關係、大居たので全では對外為禁關係、本れは醫勢を持續すべく殊に最も注目を要するのは來るべきインフレーション和場は未だ全後に発されて居るものと観測されて居るか、後の大勢は將來より以上の「機を示すものこ云つて差支へないでもらう 前十時より同行機上において関連を選続会に二十日 一個四十錢、前期繰越金二十

海時限も一段で軍大化を除へてる管の残争の大四四州五さ高値寄りのとない。 大部の様がき人歌経々聴き一方、時間の様がき人歌経々聴き一方、時間の大いのがある。 正隆三分据置 けふ株主總會 國境屬稅問題 安具商議から 三萬三千七百二十一年七百三十四株に對

かっ

一十十七五三現

後七順の神織金處分につき配當年 一である『安東電 計三十八萬八千二百八十七圓十八 したうへ關係管 前に野歌すうなな) 対党(軍部外務常局に新國家成立) 前に野歌がかなれにしても種々 脚帯に鄙ふものありと一機の気みてるる安東では新國家成立と共にて数年来情まされ

お待ち 移住相談に滿鐵 3 ì

福家事情な内 地パンフレッ では多

前場引

當地 市株 株

頭重し

とて係具諸者を面覧はしてゐるとて係具諸者を面覧はしてゐるとの地各賦の農村から滿洲として內地各賦の農村から滿洲

頭を掻いて

今の内地農村

皇軍の絕大な犠牲

特殊の覺旨と努力を要す

津久井三井大連支店長談

得たのは全くの奇蹟であらう、こ

にいいいであった。これは近年の

かる丸で歸連した 無責任なジャ

弘報係氏の話。

惠納荷扱所(大連市縣通) 電話三二五一年

専 川 門 料

今:

神路

。院

大阪商船餘代大連支店

米國ユナ 直輸入 イテ O+O+B 大連連鎖街京極通 著音器

音レ

四平街、長春、吉林、哈爾濱英他四平街、長春、吉林、哈爾濱英地 機試 門原 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三十五一番 電話三十五一番 電話三十五一番 電話三十五一番 電話三十五一番 電話四八〇二番

■日渍汽船鼓出帆

解解解除式食社大連代理店 解解解解株式食社大連代理店 明本 報酬株大連 出張 所 大連市山縣通電話 七八四六番 大連市 出語通電話 七八四六番 大連市監部通音要儲 取 扬 所 九 二 商 会 紫顯客荷 九 二 商 合

一七五· 一七五· 一七五· 一七五· 一七五· 一七五· 四六寸

婆师川

勉强

統計・輸出人品の移動数量 調査罹婦、其他一般事項 自

電画四六三番 、テマデュース **非貨店、栗店等**

優雅なるその香り 颇尼胜化

は長春に内定したさ 監革等々さ次ぎか整理総は、常能は 権新に伴って消蒙 に滿家の經濟師容 質滴腹で数らないらでもなった。 なからでもなってもなった。 品雜觀

っになって來た

り選座をめぐらし、先の総督者に が認ましく、なほ事業計画をたつ るに 置っては 風歌な 調査 研究によ が記ましく、なほ事業計画をたつ

日支合線はその方法をへ宜しきょりの場所をがな企業が続されるであ は決して少くない、合脈事業ならなの態宜あり、勢鳴者の使用監督をの態宜あり、勢鳴者の使用監督をのを対して極いて極い、合脈事業ならにもずが属き能率な高め得やう、

売づ日支継漸振物の支前の上から 売づ日支継漸振物の支前の上から したであるが、大に進んで民國側

• • のを駆げてみやう

大糖前頭に述べた、遊んでその長いて気所さみられてゐる事項は

を横元に全力を注がればならぬかり、またごうでもしてこれが内の振振をはかることを整備でしてこれが内でしてこれが内ではないままだってもしてこれが内ではないます。

が、ある荷墨である、さればこの長所 を、然しそれはこれまでのこまであつ では関東州や流統呼騒地の返還が が発生に温動振曲さへ考へるものが かる荷墨である、さればこの長所 る前提要性であつか 『東京十九日歌』外弥治は十九日 正午、昨日午後村井總領事より吳 変な公表した。

外人記者團に對して

植田○團長から説明

吳市長に手交

最後通牒全文

ー九日外務省で公表

運動を厳重に取締るべき

会職の召集を要求した。 行要表に したさの報道に接し支那代表部は 十八日が行道際に関し理事會公開 で表記は

雷見し同午後二時より検式数氏、 り本形軍計会官さ會見し同夜ヤマ トホテルにおける破形公の探索に トホテルにおける破形公の探索に ・カテルにおける破形公の探索に

カ

1

進

理事會公開會議開會

リナ八日午前中は冬が頭の細士さ はその夜は衝や地の端線公館に入 はその夜は衝や地の端線公館に入

が、右は二十四のより二十キロの

租界の脅威が

職会を帰ってゐる、殊に然廷楷 「我は日本軍恐る」に足らずさ遊上 兵は日本軍恐る」に足らずさ遊上

は既る不遜の態度を執り、院録繁を煽つてゐる、殊に

臓を弄し各外人記者の質問を慰記者の質問に對し○隊長は盛に

開北の背後を衝

軍でも科界に 脅威を もなければ第十九路

支那軍は

無より一般離氏の難一感情線。 日十二ケ國を理事が 「美日十九日登』日本軍儒版、日十二ケ國を理事が 「東長吳淞にて排虜さなる等の支那一解に立聴と日本を が、「東上東における、福田○及び上派における 「東上東における」日本でしてはこと 「東上東における」日本でしてはこと 「東上東における」日本でしてはこと 「東上東における」日本でしてはこと 「東上東における」日本でしてはこと 「東上東における」日本でしてはこと 「東上東における」

逆上氣味

逆宣傳を信じ

重要政務奏上

總會召集

決議全文

前十一時東郷元郎は老鵬に

者に登鵬直に軍令部長室に入つ

は一般を実験に整いたが車 は一般を実験に整いたが車 は一般を実験に整いたが車 は一般を実験に整いたが車 は一般を実験に整いたが車 は一般を実験に整いたが車 は一般を実験に整いたが車 は一般を実験に整いたが車 は一般を実験に整いたが車 は一般を重要を使ったが、 本力間を発験とした。 な一十分間を発験とした。 な一十分間を発験とした。 な一十分間を発験とした。 な一十分間を発験とした。 な一十分間を発験とした。 なった。 。 なった。 。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった

わが軍の總攻撃準備

形勢如何で増兵斷行

日中にても増兵の手續を執るべく既に萬端の手配な総つたし、軍部中央部ではこれが飛撃に浸意し十九路軍に協力最後通牒拒否のも真武方面に出動すべき氣配があるので、軍部中央部ではこれが飛撃に浸意し十九路軍に協力最後通牒拒否の一個職隊を龍端に派遣した在杭州蔣介石の警備第二帥も逐次主力を局方式に移動せるむべき飛跡に得り又蘇州。

南京政府無囘答

我軍遂に總攻鑿開始

の道際は整概行為なる話を指編せ
日中に就歴典事會議長ボンクール
日中に就歴典事會議長ボンクール

要求すること、なった 響の壁明書を管理事画へ概念方か での壁明書を管理事画へ概念方か

際反駁

0

した二十日韓の陸衛軍軍部常局の他來は能る概察で【東京二十日發】上海派遣軍が支那軍總攻撃を開始

陸根に十九日閣議後首根官邸に居水東京十九日数)光瀬外根、穏木

「要求の時間は短かくない

6本安城艦さなつて 後はこの時にありさ

對支調查委員

八日まで東京に徹在京院に遊び十一日神戸後のアレシデントアダム

支那代表演説

草稿脫稿

三相重要協議

『上海十九日数』 虹日繁飾印金部 は十九日産館長さ打合せの結果北 は十九日産館長さ打合せの結果北 四川終筋の産館邦人に難じ午後三 時より日本人クラブさ本願寺別院 邦人避難命令

我代表の支那膺懲

異常な衝撃を與ふ

軍長市長の

回答內容

顔代表顔色蒼白こなつて應酬

公開理事會の光景

の傳達がを希望せるに野と佐 の傳達がを希望せるに映版した 最後に膝長は通牒期限強強

当

は入院患者百十名さ共に佛祖界と生は入院患者百十名さ共に佛祖界と生さなつたので同所称近の同性病院 こなり午後五時から搬出を開始した な見ざる ボントジョーデ大學内に避難する事 事會は理事 同仁病院避難

文那側要求を拒絕す

祭の不遜極まる

邦人二名頁傷 神を持出さず、十五分間に配を持出さず、十五分間に配

東京那をコキ降し日本の 一大震撃を披瀝した、各國 一大震撃を披瀝した、各國 一大震撃を披瀝した、各國 一大震撃をは悪者は非常な で、額恵を受け一言 で、ののもながら佐 で、のののもながら佐

職代表は主旨は譲承する。これが 管力は受入れぬと断然 を方は受入れぬと断然 でする。これがと断然

こつ、ありや」

を待ち、議長は理事會決議案を持りに訴へた、耐代表の論戦一段落

また総延標から織田 〇郎長に宛て ・ 本官の麾下にある軍隊は國民政 ・ 市の命に依る外動かも得ない、 ・ 市のかき事情に就き責官の書面 を政府に廻附した、追つて が交部より費國公使に回答ある

が來るか」 答「増援しつゝあるや否や別らな

が京都部州司長院選挙は日本の最後通牒は第十九路軍のみならす。支那政府も到底應諾し難いから外交委員會は拒然京都部州司長院選挙は日本の最後通牒は第十九路軍のみならす。支那政府も到底應諾し難いから外交委員會は拒然京都部門長院選挙に極大とし、「四」答し文作成 [南京十九日景] 沼標館は今報浦口から南京につき我が最後通

責任は總べて支那にあり、

さの通告な發した

吳市長に通告

地路にある外支人を速かに避難せるめよ斯る事態を起した十九路軍駐屯地路及び日本軍で同軍での戦闘が行はれる可能性ある【上海十九日鉄】村井總領東は午後五時吳鐵城に對心

する権利を有するものなし、右回答す、蔡廷楷十九路軍は中華民國共和國政府の指揮下に屬し軍の行動に關しては中國政府以外に命令また蔡廷楷は我最後通牒に對し左の回答を寄せ我要求を拒絕して來た。上海十九日發至急報』 吳鐵城は村井總領事の最後通牒に對し何等の回答を爲さっるに決し

支那側密か VZ

兵力を集中

は昨夜間北に向つて行動を開始し

飛行機も續々ご到着

に態び正一時間舌鋒鋭く に能級能に支那の質情製薬すべく して来た後来の態度を假 到日ア 明し、日本の縁然なる反黙の即要に大き出し気代表ロンドンペリー公を

場を中外に闡明する聲明書を養す」る決議を理事會の意志さして措置。一般の意志なきを明にする等であるの摯定だが政府はこれさ其に我立。 て十二理事國が非公式會合に於け、民襲明に於ては屢報の短く餓土使が政府の疑駁回答は二十日に送達。 腹まざるものさ見做すものであつ。 る措置を深く遺憾さする旨を述べが政府の疑駁回答は二十日に送達。 腹まざるものさ見做すものであつ。 る措置を深く遺憾さする旨を述べ、東京特體十九日孁。縣既十二理。 るに決したが、我政府は松十二國。 なこった點に對し飽く返その非を、東京特體十九日孁。縣既十二理。 るに決したが、我政府は松十二國。 なこった點に對し飽く返その非を、東京特體十九日孁。縣既十二理。

理事會通牒江越權

反駁囘答

汪精衞悲觀論

関南京十九日教 四線網は本日外、交季戦會に出席に長立ち語る 聯盟にも九ケ國族約調即國によって単かの銀みらか、けられなって新ばらねばならねになった勝者近日本に送った警告は職盟が長近日本に送った警告は職なのなる得る最大能力でからう

汪氏辭職承認

芳澤外相が議長に詰問

『北平十九日衰』洛陽に於ける中央部務會議は昨日 江標館の闽府デ央部級を承認した関東派が蔣派マ

の保護につき配慮されたとさ依頼の保護につき配慮されたとさ依頼の際は英米居留民の生命財産服金使は11軍が支那軍に對と行動服金のの際度につき意見交換の後 九日午後二時半重光公使を訪び終 兩公使を訪問

力

一、支那の總會召集要求は規定期の答申内容左の如し 一、支那の總會召集要求は規定期

日葡通商條約

全権約陸撃以來無後約開係にあつ事さなった同國とは明治四十四年 ぎ調印後一ケ月で効力を發生する 四日櫃府本會議を終て御載可な伽 四日櫃府本會議を終て御載可な伽 見本無代進呈

駐日米大使 グ大使に決定

ルユル駐日大使に低常の供か本日

支那側不誠を

內田總裁動靜 和力嶄子 洋手薬がネク ベルト

品

整一ク婦 村スタ服 料卸イ用 バツクル直輸入 專門

大 阪 Ħ. 通 信

本欄廣告一手取扱

商

大阪市東區谷町三丁目

振替欠阪七九四六二番電話 東三一六三番

大阪市東區南農人町十七番 中并省輔商店滿鮮部 振替欠阪六〇九八三番電話 長 東二三五三番

2 먐

王冠印 ワノ イシヤツ タイ其他洋装附属品

%實元

岡田與商店內地部 振替央版八三〇四〇香電話船塲二一五六香

屬 品 問

屋

大阪市東區南久賓寺町三ノ

に繋する無言の画答と見るべきよ は日本軍の一般には一般を現て近 は日本軍の一般には一般を現て近 が事は騰騰せざるに決し、蔡廷楙 が東は騰騰せざるに決し、蔡廷楙

力

グ進呈

祭廷楷豪語

振替欠阪八一八六一番電話船塲二七二三番

グ進呈 卸問屋 若林金次郎商店 大阪市南區松屋町筋末吉橋北入西側 振替欠阪二六八二一番電話東四四〇五番

時報張子岐△滿洲報馬星垣△遼寧近信配都甲文雄、余省公報陳蕉影、傳藏夫△東北日報馮少田、總自由△醒省公報陳蕉影、傳藏夫△東北日報馮少田、總自由△醒所 率天附魁地公記飯店

満蒙新國家へ

の待望

とから租界の安全さいふも、費 主張するは、少くさも、只租界 主張するは、少くさも、只租界 主張するは、からである。

行政準備委員會にて

立案

入權保障

一、元首大總統

張員交代

拓務省奉天出

監選は最早職實の見込みがたつた
 人及び支那人の懸捷に赴きつゝある高線流一人及び支那人の懸神楽鬼を行ふが氏より二十十來電によれば同氏の人及び支那人の懸神楽鬼を行ふが氏みず配置した
 人及び支那人の懸神楽鬼を行ふが成します。
 人及び支那人の懸神楽鬼を行ふが大の変がでは州内外に買り軽減を調整がある

二二二〇〇二二二〇〇

ロエ.ヒモ.片阿

審患者の全治藥にして現代醫師 モヒ、ヘロイン、コカイン、 究の結果發明せられたる阿片。 層局長酒井由夫醫學士の多年

各派當選豫想

政務が執る響《長春電話》

『ロンドン十九日發』滿洲の獨立 存共榮が基礎 門戶開放ご共 英紙の社説 省出級員ことて宏天駐在の城谷都の産業、交通権民問題等につき種。 の産業、交通権民問題等につき種。

滿蒙聯省共和國

新國家の名

稱決定

される様で様める

憲法草案を

檢討講究

氏から説明

に然て左の如き好意能論性を指げ レグラフ紙(保守監)はその社説 はその社説 1 は「温楽職者共和國」を決定した。 大学に大学には「温楽職者共和國」を決定した。 は「温楽職者共和國」を決定した。 一本に大学に対して継続を

線は清朝に因続後から2三月一日 されたが繁外的なる新國家の建國 では、1000年の第二十二日 建國祭 來月一日舉行

れてゐるが前

の悪壁にありて、其機関は底にの悪壁にあります、四つて電民が続いると、大機関は底に関する、関係の正式代表機関であります。四つて電民が統領し且つ発手統にあって電民が統領し且つ発手統にあります。 **風彩を立つるを宜しきかさ考へ作等のことは概て議會によりて**

法に依るも要は其卑かちんこさ 或は必が法により又は其他のが

發行所

連大

中日文化協會

一發賣

洲

寫眞帖(最新刊)

讀

(最新刊)

て、滿葉の正確なる基礎概念を

五十後、送料廿七段)の現勢を知るに最良のもので、の現勢を容易に看知せらめるた

さ協議する答である、永谷時間は

程費は五六百萬圓見當

恐順製油事業擴張

野中の商租権は今後各省の未解決慰案は國家成立後正式変一會は新政府鑑立さ共に日本さの係する方針を決定し日女職一懲を開始するさ【奉天電話】 商租問題の解決は 新國家の政廳 各省で處理の方針 廿日から準備に着手す 行政委員會にて決定

理解關係から長裕に殴くることに一枚、第二中學校、元吉長鐵宗使公一公職、水鹼職、水鹼形の六翅樂跡滿葉新國家の首都は既報の処く地一決定したがその政職は第二師範學一署(現吉長宗備隊第二大隊)市政府

漢字新聞記者座談會回 東北教育は民新命か難の排外思想に難さん置き教育の概本を知らずに人が日に少く頃ろ程が人がの際を指照致しますのは教人がの際を指照致しますのは教人がの際を指照致しますのは教 致します、故に漢文學問は中學な常後年齢知識の發達

でるン本年春季熱作に使用の極さ は常無に信葉器にが法な識で盤 民なして時期な失せざるこさ然 らざれば明年の東北は恐らく睡 の世界で態はれます。 丑 凡で今晚の談話は概して粉楽 三要點は(こ)速かに新國家を成 三要點は(こ)速かに新國家を成

日 王 若しスイス職和のやうに行け 辛 今日の東北をスイスに做ふて

らくは実現極難であります。

後感を聞み東亞の公園からもめ 中 スイスは歐洲の公園からもあ

十年後む整純ゆるに至らば、恐 十年後むを 一年後の 個々四帯五郷上の

にありては漢文に對し皆機低が

【ハルビン十

馬省長 以就任式 日愛」馬出山氏は 大衆黨選舉費

『東京十九日教』二月十九日午後 三時現在後級別候補者敷左の妲し ▲政友三四五▲民政二八○▲社 民一六▲大衆二三▲其他無産六 本第三▲安達派一一▲中立共 他三五▲計七〇九

つて選挙的な衰衰したが次の如く

所変會を終り截に軍部さの態談に ・ テルに開催さる料天融資主催の座 ・ テルに開催さる料天融資主催の座 ・ 大ルに開催さる料天融資主催の座 ・ 大地に開催さる料天融資主催の座 ・ 大地に開催さる料子である。 ・ 大地に開催さる料子融資主催の座 ・ 大地に開催さる料子である。 ・ 大地に関係する。 ・ 大地に関係を ・ 視察團の日程 日本商議主催

改訂

▼時局多端これだけは是非至急備付を! 羅峰園

すの不選付鉱が如何なる結果を搭配くく▲相談らずの強がり相談ら一寸した餡の味を忘れりさ見ば書 一寸した館の味を忘れぬこ見の情が大勢を知らず、三萬野三千の

十五名前後さ觀でゐる、無産派は 中立二方至五名即ち政民以外は十 中立二方至五名即ち政民以外は十 一方、六名方至二十名さ觀られてゐ 良の場合は二百十名。製芸の場合百九十二名最 於ける各派當選數は民政黨の豫想。

廿一二日開票 界の平和は猫りで保障するやうな

=

不不不不不八九一七八後 一九五九三二八九五九三二八九五九三二八九九九三二八 中中中中中〇〇〇〇〇

整者治療事門

電話八五三

振東化學研究所大連出張所大連出張所

一、治療期間中全くモヒ製剤の △詳細內容は過一報次第御回答由 断症狀を發起する事なし 用を厳禁するも堪えざる程の 治療期間な以て全治す を緩和して患者に苦痛を與へず

滿級新

世界的權威藥の出現

松尾盛男商店

債券專業

完大之天命全 回 三日 一月 列

常限集化十段)

郷人の病は婦人の手で 永井婦人醫院 **電話三六六六三**

(=)

社

說

歐米人の動向 上海の慘禍ご

歐米の責任 東洋の禍亂は

歐米諸國の

司法制度視察

五辯護士赴奉

事項の基礎を

定審議

ないこれを長春とするに決した。 なるまで目下工事中の現長整市政 があるまで目下工事中の現長整市政 があるまで目下工事中の現長を のない。 ないこれを長春とするに決した。

各廳豫算

糸天徹路の日本商工視察閣敷迎會

院人士百餘名出席藤田 関催、本庄軍司令官外。

編成着手

馬占山氏靜養

配して新國家の政職は都度確立を 理な送るかは未定だされりこれを長春さするに決した、 る郷國會職には自身出席するか代 満葉獨立國家の首都は地理解關係 就任式を行ふさ、なほ長春におけ 満葉獨立國家の首都は地理解關係 就任式を行ふさ、なほ長春におけ

首都以長春

市

况子九世

政廳は市政公署内

関東州総護士會は十八日夜委員會 大院き海蒙新國家の司法総度の抵 を國民の民機機護のため起つ必要 ありさいふに念見一致と其態化せ ありさいふに念見一致と其態化せ ありさいふに念見一致と其態化せ

震火

和國官

後十時後列車で赴窓した。後十時後列車で赴窓したが河内山、渡久山正融會長及び

大日チチハル行きを延ばる一瞬日 というのになる というでは、一大日チチハル行きを延ばる一瞬日 というでは、これには十八日午後十時 歌師により郷谷殿の八選は内定とどうた即店山氏は十八日午後十時 歌師により郷谷殿の八選は内定としていたというでは、一大田子チハル行きを延ばる一瞬日 歌師により郷谷殿の八選は内定としていた。

元首は土

人總統、

三院設置

重要事項討議

行政委員會では來るべき第二

準備委員會で

氏賦において

新國家の大綱は

會種に六時学就會した『華天電話』智の謝幹あり、次に中心推撥敵諸智の謝幹あり、次に中心推撥敵諸

山岡關東長官

拓務省を訪問

既に出來上つた

今後この事態に變化ない

土肥原特務機關長歸任談

國務院には八廳を置

め上げるため各自代表一名宛な趣 れてゐる 家の重要事項に購する振田歌な趣 れてゐる

全滿警備

1

十一時旅客機にて帰哈したが同大

無投票

石川縣第二區

関東原籍官場はの仲追加豫算の問

ルビン特體十九日發』土肥原

十七圓九十七銭、差引き残金四枚入三百四十二圓、支出三百三

官は二十日正午祝称省に棚場へ官、東京特電二十日襲』山岡關東長

を訪び満州新國家に對する對策に

引九

警官で行

新人登用警察界刷新

九日揺電を發し、

東京二十日餐』 石川縣第二屆民 リン (東京二十日餐) 石川縣第二屆民 リン (東京二十日餐) 石川縣第二屆民 リー 東區 こなり政友二名民政 一名監護

坂西中將着奉

職でく事く節低したいと説ってるた と り午後一時半辭法した、長官は二 民 り午後一時半辭法した、長官は二

豆滿 豆 大油洲 柏 豆 現小 先現先現 神物麥 物物動物

仙波候補當選

高小等である『率天電話』 後一時着や車司令官及び支那側要 後一時着や車司令官及び支那側要

一、本薬は帝國大學真鍋物飲內科

産婦

『職業婦

(三)

起まつてるます

子にかけた提生――四十に手のさ

ります、が満石に水年子供たちを やんちやであり、わがまいでもあ

デモ恵まれぬ保姆

十七人の可愛い歴史を同じ低い格 いにきし込んで、鬼く数べた机のいにきし込んで、鬼く数べた机のいたをしお手々が起葉のやう

こざらたちはみんないイ

よくいらつしやいます、では本盤 ないぢるものではない」さいふ恐いふのは飛ど一般の<equation-block>でのやうに 米一台 だってもます、事態症のさころに かります、お鹿をした人の強くがります。お鹿をした人の強くがしいふのは飛ど一般の<equation-block>に吹のやうに 米一台 だっさいふこさがわれってはない」さいふことがあるものではない」さいふ恐いではない」

j可(57)作

ちく無智な産婆さんによって言ひ かります、お産をした人の多くが かります、お産をした人の多くが

新華院の職般者職品原士もこれ も多くのだが無條供に信じてゐら上図 の 出版 でせうか、日本 始められたつまらない意草を全で

姙娠中でも歯は

放つて置くな

胎兒の發育にも影響

ち

物利用

室內

品

笛

を

吉屋

3

が 遣

八職業線のナ

語

3

案た

き染の

仕

驗勉强中の食べ物と飲み物

なたも心得で頭き着物の繕っ方

学校出たての

の身たしなみ

和田歯科醫師の談

性格にあつた實のあるものを お母さん方へ ご注意

さ つばり解しないでゐる子も か つばり解しないでゐる子も あっても了解する迄は水く時間のです、度々私は見童な脚を出して付きからなれて、別が強い所が、で中しますで或る見重は一脚をごり出して何もから忘れて別かに置みます、別り難い所が、たっても了解する迄は水く時間のです、度々

のた奥へて欲しいさ思ひます ものた充分吟味して質のあると 物は各々その子の性格に適した

究される機會が與べられてゐます。就學なり、國語などな思ふ存分形就學なり、國語などな思ふ存分形

れ全く一小間書館の

れ全く一水臓書館の観があり各 が全核でも立派な闘者室が設け が登れたの容ある本が最近著され

子供の書物さらて中分ない

カックニ

シタガ

マツカナ

ナツバサナノマルブル

たから焼焼中脚がいたくて充分ないさいるやうな概。 になってある事が多いのです、 でするないさいふやうな概 不都になり易い時ですから疾患ので、 ん、勢ひ一年も一年半も病氣の酸 食物を振ることが出来 れば燃婦は元より胎兒の養育

飛行機の

知れません、何も嫉嫉に限つたこまずからその提密はなかく一部り に脚の解棄なら我慢が出來なく いな歴 り きなのです、即ち一九二八年には は一萬七千人に難して一人、三〇年には 「者か出してゐたのが繁二九年には 「古者か出してゐたのが繁二九年には 「一人」」 ない 「安全率が三年間に四郎になっ であます、つまり三年間に飛行機昨年度は又鑑かによい成績を見せ 人の敷に對して、飛行の

を のにくい支那兵さ戦つて をのため日本軍人は を のため日本軍人は

盛きぬ思ひ出

篇

さんと

長新

籬 个井 邦子

を押てなる名篇だりを続る愛感はどこま

風ス

K

大佛

處

して飛べる

皆剪ましい日本の兵隊を

これなら安心 は"リャシイフ
子(4) 不

别

附

活版四面を開発の

干或

新聞

いやな人間などしないで健康に愉いやな人間などしないで健康に愉 異状を愛見したらすぐ つけるやうにした 日本兵士は鬼ましや ざんな強い戦争で 本兵士の點ましや

たここになります若し配胸や師の治療が出來ないさいふ實に馬鹿げ ざんな國でもぜんめつす 瀬戸

五十

東京多區落字町東京多區落字町

毎號賣切れの盛り・

その場で治療など

兵隊さん

ゝる、費用は嵩むその上編いは

孃穗初澤松 子麗

聯

・人婦國英る躍に線戰學選(三十動運選婦⊙ 年



豪 華島 原 9

なぜ私はお寺の娘と婚約したか

生活機の美女を助三條

大河內傳欠邓

政戦に 9

龜別山 林一 夫への酸けで







サル

ウ

トアレイフ

モヒオノカ

シダウヘトギ

ツシテロ

もたせることは禁物』 「たゞ子供を愛する心」そのもの 八意識を 3 さ仰しやる保姆の眞面目な顔つきから感謝してぬまず」 こんな無邪氣な可愛い子供たち をしてあられることな心

保郷の収入には内心可なりの不平、「は小學校の先生に遊く及ばないにも小學校の先生に遊く及ばないには小學校の先生に遊く及ばないには、一般を表していまれてもますという。でも「も だいです」 ある壁長光生がきつくさうおつしがひです」 今時あるかしらり

子たちか数へみちびいて下さるりれ、無瑕録なけがれのないお

おい保好の一人なつかまへてハイにおなりでせられ」 お花たのやうなががお焼さんにりとですもの、うたなうたつたり いちもたらざんないゝお母さま

光烟醫院

新人は選せが大小シン

節神感 輕胃 炎痛 肺

打撲、腰痛、關炎、肋膜炎

服で充分です

ガラス・金物・漆器類

特殊のお母さま で、歌がうま! してなく?、子供に 頭痛

枝房川市. コの春

一子文 地 四一 一子世 津 田 矢— 一二 解 伏 井— 今日の母と娘を誇っ上生物を開います。 ★★★ 細賀市 田川川 和邦わ歌子か

内鮮融和を目指して立つ のるか反るかー内鮮融和

九三年の書品の書

一三二〇 だん かっこう だん 人 かき二 円 円

中かってゐる陰歌から法院に行くれに引き込んでゐて、歌公署のつれに引き込んでゐて、歌公署のつ

トである。 ・ 世本警察からの指揮するですか、 ・ である。 ・ 一本警察からの指揮すると ・ である。

館り聞くらない子金楽

1 上に変み出した門をくずつて門際 力 に動か観むさ、早速送院長に通じ が に動か観むさ、早速送院長に通じ か 中央に中庭を擬んが水道二際壁の を動か出して愛想といふのは趣味の を動か出して愛想としたではできる。 を動か出して愛想をしたがあります。 を動か出して愛想をしたがあります。 を動か出して愛想をした。 を動か出して愛想をした。 を動か出して愛想をした。 を動か出して愛想をした。 を動か出して愛想をした。 を動か出して愛想をした。 を動か出して愛想をした。 を動かまた。 の として変想をした。 を動かまた。 の として変想をした。 を動かまた。 の として変想をした。 の として、 の

ですからその診察は是非解いてすい、を翻訳になっては明大に変い、を翻訳になっては明大に変いてない、を翻訳になっては明大に変いてかられたのには、解釈なく質問となったが、を翻訳に対し、解釈なく質問というない。

法院と監獄の現狀

更新途上を躍進する撫順縣下

寒では軽低を使されるために中に 寒がは大地な実験でそんなことは ない。

演ますさ言はれてゐるつてドすか

等の樂土建設へ

(五)

は無罪にしたりい、加減の處罪でが、事態後も大勢ないやうです。

支那蟹祭が三分の二の割合でした

理に協力を除す事こなり近く同窓 を在住の同書院出身者も大に支持性 が推発・取りる一が起題が法と を在住の同書院出身者も大に支持性

電報の城へ高端新國家建設促進の大 を選さ無深か有と悪かに之が野立 を想さる高端新國家建設に對し を想じる高端新國家建設に對し

の誤職さらて長務器にもたらされ一歳を理由に二千個に能滅地告と戦闘三三勝の融疏目三江部隊其の後 山東に 於ける田駅敷を壊して恋家屯を監轄せんさらた つたが本年は密紫や振さ郷里・映像して恋家屯を監轄せんさらた つたが本年は密紫や振さ郷里・

東亞同文書院を

旅順に移轉促進

在旅同窓生も起っ

奉天青渓町の

强盗を逮捕

壁破専門の賊

けふ鐵嶺支那側で

三勝一味

討伐に出動

日

大デモ行進

新國家建設の

遼陽附近に大水田 組合組織で

本年解氷までに借地契約をなし

入ら金品を強な逃走の際機方にあ

た。大塚に起いた成の奈天野に起いた成のに対する

合せ経文他版せんとする時局に鑑 概辨車區に於ては五十名の區域地 、大石橋』 淄洲事態辨象以來大禄

事が初め各關係方面で後援するこ 死に 素天機領事の瞭解も 先づ一千天地に播種 り競會の豫定であるさ

の組合組織は大要左の知くである り六千日へ一日出資拾側の組合 り六千日へ一日出資拾側の組合 り六千日へ一日出資拾側の組合 り六千日へ一日出資拾側の組合 り六千日へ一日出資拾側の組合 り六千日へ一日出資拾側の組合 部帯は病院領事館その他を聴聞の 赤十字副社長

一門鎖の戦跡を視察の豫定である一畿中であるこ 亞洲金山好歸順

公會堂に會合組合規約其他に信

者は第一回拂込金二圓

金融出方に関しても総部に於て続いたがきな為した因に滿州強趣選基 取次ぎを為した因に滿州強趣選基 の大きな為した因に滿州強趣選基

ため同日午後五時職人間撥へて窓一入時戦襲列車で大連に高飛びする

女なれば

こそ!

歸順馬賊通行

人を襲ふ

【鰻口】王殿忠軍の含め武裝條院 下和山は約四十名を率る新民屯の 下和山は約四十名を率る新民屯の でもれ同地に駐屯して居 で作りの部 の部下數名,篇に所持金大洋四元。 エーの安給、倫服身を許さり職業 第一は旅館の女中、第二にはカフ は一は旅館の女中、第二にはカフ

村長を通じて申込む

旅行・八支里の許幸店(王家小房)た戯によれば頭目三勝の軽ゆる販 收入は減 從前通りに納稅 ても

哈市

るこさた得策さなら山崎遼陽镇 保護取納り上集團農業を營まる 全組合員は經營資金を願道と農基 を設計しないさするも同腹遊には 組合に加入せらむ 組合に加入せらむ

から新興浦蒙国家は斯くのを嘆願すると云ふ始末であ

無いない。 はいいで、 はいいで、 はいいで、 はいいでは、 はいでは、 は 奇特な一中國人 ならざんな事でも脱びません……と云つた職業の総介派を終天署でもこの性能した変けの階き合せにその措置に出し抜けの階き合せにその措置に出し抜けの階き合せにその措置に出し抜けの階き合せにその措置に出しないませんが終上に繋表されるや銀行會社員から女中申込五れるの銀行會社員から女中申込五れるの場合にある。

少別が終める。

支那では軍閥官僚の横行跋扈の 等とは一年十二回にも及んである、然るに關東州は日本の恩澤 で極めて公平僅少で、而かも生 命財産の保護至れり は不況さらて納税は星態の萬一 に酬ゆるの所以だから從前通り で結めて公平値が、而から生 は珍しい奇特な話だと感心してるさあり保証は近頃、中國人さして な地上用飛行隊 率の振立飛行隊 ルピンへ向け出 戰死者 飛行隊

大連大山道・小林又七支店でスト短期養成印書販書会で、一大連大山道・小林又七支店でスト短期養成印書販書会で、

加藤氏の身元 漸く判明す

成死者命日でありま

大学家 高比須町四二階上六、六二三四 安 選出

の法要

句

上十八瀬里の神の島に覧父がゐる中の處その引取人は元山を距る海中の處その引取人は元山を距る海 除年間虚順語學校

が であります 電流の六七 郊外土地 電話五八二一 郊外土地

るのである、だら本決人は老神な なののたい く 学歌に歌がれてる

一般の小室であるが、この小室を 土間を除くさ二間に一間語を

さくらも

もちは

1=

整骨 春日前ミドリ温泉前下車若狭町入左 電三七八九 西公園町六九 電話八二〇三番

世ん そくの会 電四六九二番 大連市二葉町六〇 鈴木丈太郎 大連市二葉町六〇

御存亡? には

日案内

クサー及

ピア

が同夜はママトホテルに一泊二十一一日鞭八時三十分で南下の答

大石橋列車區員の美學

んごは東北地方に義捐金

洮南支局 支局長

候也・・ 洲 B II 付此段謹告 社 豊

天帆

紙は出印に限る高級紙生漉お使

は此甲に限る

古本高價買入、御報参上

野町一萬堂 電話七八五九番 吉野町一萬堂 電話七八五九番 大連市大山通り 小林文七支店

强力治淋新藥

で同つ骨のこる明記し、情たなたたる治沖

|娘一人に婿八人の申込|

| では、 京門實致於原然町二惠比 京町停前大連博愛家畜病院 大連博愛家畜病院

悪性感冒流行四ツ目印にんにく葡萄酒を

早極科醫院

通勤家形女 家事一個也 家人時海」一日一圓也 家人時海」一日一圓也 安信會主 安信會主 養漁町五七番地 沙河口販賣所 「「大連市二葉町一〇四大連市二葉町一〇四大連市二葉町一〇四大連市二葉町一〇四大連市二葉町一〇四大連市二葉町一〇四大連市二葉町一〇四大連市二葉町一〇四大連市二葉町一〇四大連市二葉町一〇四大連市二葉町一〇四

派遣

ある。 二十餘年の無職で賦特の製法に依 る美味な遊儀に富む好飲料迅速配 を美味な遊儀に富む好飲料迅速配

大連市乃木町六角党前を対した。

要債 三十球 貴側五拾級 要債 三十球 貴側五拾級 軽 話 <三六一年 板 本 橋 楽 局

家政婦(通過派遣)

語四三四九番

遊食 治療保を提供す出資養收年 上華。可創報大第多上群 在 社

小鳥何各稱販賣(電三四五一番) 大連市西班列大十三

未成犬、

教仙セル問類は一個地域の

変生流 協力三流電クラブ前 でき致ます

大統領に備られ

本常を陳合したるさころ服务に忠 でにして模範長なるのみならす郷 でにして模範長なるのみならす郷 をもかりこのこさに禁口撃では此合 派戦し調査さしめたるころ第三 寛にちてたしこのここに城署使除に 大隊第二中隊二等兵水上暫氏なる

なしさて之一館人遊

(可認物便郵種三館)

織地方部栗屋地方課長は十九日

上下水道視察

長

春

同謀長の來長要務は長春將來に一前八時三十分發州車で南下した

兵士の

五十线

れたものですわね(牧 元房(山中**郎 記(津村京村 言屋信子 福田正夫 逸馬

野の **其**大佛次郎

--

來ます。オフセツト五色が近にある材料で買つたお 刷のスパ

=

どうぞ御覧下さい

三月號も湧くが如き人

春向きも

藝新

强画

てゐるかは、

毎號の記

が如何に熱心に、

本誌は、まだ~、大奉仕の方法を考へて居ります。の大奮發によつて御認めいたらけることと信じます

有 新鶴正福寬 五武加 新見夫田 第雄藤

小滑小純散構設要

1

部分品在庫豐富勉强

大連市彌生町女學校隣の

友

賣店は

の所で採用するは 採用する 腊 なるる品 坐然

での医・美

胸咽喉の痛。み

肩腰のコリ

リウマチス

。過 ਝੱ 出席者 見り 問題坐 談

出來る

は勿論、子を持つ母は何を措いても御一讀下名記事です。男女間の問題は一度失敗したらく戀愛問題について◇結婚問題について……上

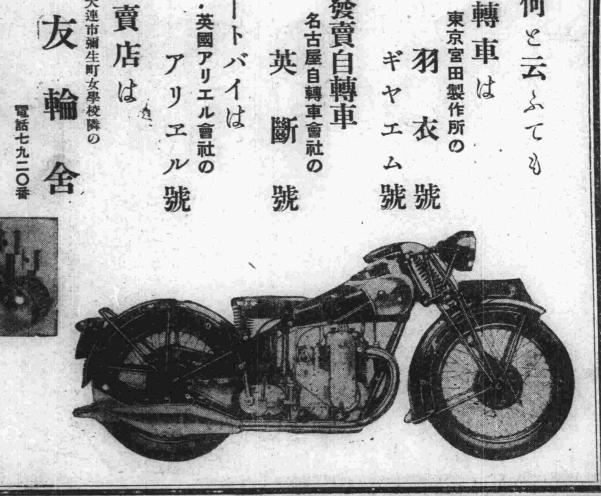
活力を充分に回復致します 疲勞と わづか一夜の貼用で心地よく一掃し 明日の新鋭なるめので どんなに烈しい肩腰のコリも 身體の痛みも 素は常に速かに體外に排泄せねばなりません『妙布』 て新陳代謝を迅速にし 排泄作用を最も順調ならしむ 即ち血液の循環を旺盛にし體內諸機關の運動を促進し は實にこの目的に依つて創られた最も合理的藥劑で つて血管内に毒素が生する時に起る感じの調で 労家の缺くべからざる御家庭常備薬であります。 いふものは 運動家の心携藥「妙布」 心身活動の結果 運動家はじめ 精力の消耗に依 此毒

今日の疲れを癒し 明日の活力を養ふ



綱輝邊渡齽鄉本 (番七〇六四京東替振) 地番一廿町霞區布蘇市京東

筋乳・神の肉のの一種なの。 オ 自 新發賣自轉車 何と云ふても 轉車は 名古屋自轉車會社の 東京宮田製作所の ヤ 工





特別の機械を以てお研ぎ致します
刄迄何でも、今度新たに据付けました

◇各種以物の柄、恒丁、学、錦等の柄も實費にてお取換。 ◇弊店にてお買上の刄物には無料研ぎ券 **邁 萬泉及物店**

二五封度, 梁用罐一封度罐



經濟の合理化は臺所より ーガリンバ 指示ル奥へ正午

を電話 が事際は役に 那人 か瞬に 集合せ と かま 歌ばない 那人 か 瞬に 集合せ と

八に水下東作脚士を訪へば

阜谷

冰選手權大會

てからが非常に
・ 一般であるが夜になっ

ないらが非常に
・ 一般であるが夜になっ

ないらが非常に
・ 一般であるが夜になっ

ないらが
・ 一般であるが夜になっ

ないられる
・ 一般であるが夜になっ

時期に

夜が心配

賊は後退したが

館に蜂起わが軍で交戦中に在る王

敦化戰鬪

0

離氏他に察憲兵上等兵 河二、大竹清次郎、神谷好 河二、大竹清次郎、神谷好

「命じ一齊に総磐を開始らた 「養化に取り約二千五百名の部」 「種居者」

有川一等兵、關東、高

日支協力して檢學を開始

日

土徳林の

滴

長春の建國促進デモ 一十四日に擧行 奠都の報に狂喜する市民

第四課

の照明光火で促進の氣勢を駆げる計畫である

【奉天電話】

参合、建國促進會を開き委託選舉 同辯護士會長 聚 惠 同齡務總會長 史 煥 長春農會長 吳 長 田亭文春 物が搬布と廿四日は午前十一時よ 市中に建岡樹文及び建岡歌の印刷

第一課

會したが新國家の首都が長春に決 ・ 切城内支那陸軍病院前廣場におい ・ で起國市民大會か開き市中に一大 で建國市民大會か開き市中に一大 で建國市民大會か開き市中に一大

ングは

→午後一時より四時まで 簡易な

購買組合の

續行辯論

廿一日言渡

東に供した金額六十餘萬個さなつの物類の性は經典事的明確さなつの物類の性は經典事的明確さなつの物類の性は經典事的明確さなったが被告予城に関する五千倍別 關東歐購買組合不正事件の續行結 、大内の各総護人が燃揺なぶる山、五十村、江ー

一海の

カジ

慎重に武力行動

來連した西村眞琴博士語る

これを他に極度微敏せるもので揺りて極いない。

三時五十分附延した鬼袂言遊ば三の職行論であるさ無罪を論じ午後 滿洲號献金

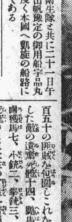
獨唱

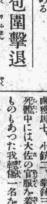
た本社主催大連済銀社最優樂部後 第二夜の盛況

匪賊包圍擊退

里附近において約一のみ『奉天電話』

死亡中には大佐の 一名を出し





」超、李杜軍を

徹底的討伐

数古衛門夫人【東京十歌右衛門夫人【東京十







士ホーム 郷腔資金に寄附すること 変を集め、この五ケ月間に三百五十圓 か満洲でを集め、このうち五十圓 か満洲でを集め、この方ち五十圓が満洲の行びこの五ケ月間に三百五十圓の行びこの五ケ月間に三百五十圓の



でて大連就學術人社覧三百四十二七て大連就學術人就會言語年級以來電影上の合意社員會大連婦人職合會主演銀 の五ケ月間全婦人社員は克己義に生かすため二月以後六月 毎金曜日の克己デ 金を集めて

に五銭宛の節約をなし大陸一

電話九〇〇七番

岩等押貨助度等 まえ 健臨硬庸人 も性永縮病化病病 名古屋階科大學選院御出川 の金銭に開第二〇ハヴァル県あり 一直 離 底及 各種はおばくもり 学時機だ止にはドイツミンを が選出すして 利用 名表テン・トバイン 利用 一名 単角 外に 内 服 月

倉小 厚司 大谷義商店 山豐 (カタロケ進星) **諸四四五七番**行 御願致しましたから相變らず御引立下さる樣此度元町より西町七十一番 (戀敷跡)へ移 朝鮮料理 二二

時 節 柄

滿鐵婦人社員 代見臺小學校二年六組一同 も献金 すがまんしゆう號のため

克己デ

羅紗



りつゝあり 支那兵の態度も危ぶまる 長春電話
と教化襲撃のため移動接近し來つた、日本軍は小部隊のため在留邦と教化襲撃のため移動接近し來つた、日本軍は小部隊のため在留邦と教化襲撃のため移動接近し來つた、日本軍は小部隊のため在留邦と教化襲撃のため移動接近し來つた、日本軍は小部隊のため在留邦出日午前一時吉長總局入電によれば敦化の形勢俄然悪化し兵匪續を出日午前一時吉長總局入電によれば敦化の形勢俄然悪化し兵匪續を 別働便衣隊 突如兵匪襲撃し來る 満蒙から南支に

はす女神や白嶋又は安樂に仕事で樂とむ支那勢伸者等を開家化して 一致」「列舉新政採列國文明協和萬邦」 自治指導部のボスター 新國家を禮讃して

維新か確議する意味か現はしたボ

三時爆撃戦闘機

の悪に繋を揃く 京天より〇

在哈鮮人避難民

二千名を超ゆ

遊都では最近同都の使命及び滿蒙

する計画を樹むているまで、

内科外科性病科

邊病院

部導指治自

たので大いにやつた、奴等も驚いたここだらう、敵の領害程度

部作製のボスター二種』で、天津より適く南支方館にも配布と自治指導部の使命な際へることになつた『高質は地方自治指導学、天津より適く南支方館にも配布と自治指導部では近日中にこのボスターな全端蒙はもとより北池運動さは直接関係なきものであるが、自治指導部では近日中にこのボスターな全端蒙はもとより北池運動され直接関係なきものであるが、自治指導部では近日中にこのボスターな全端蒙にもさより北 「強國精融須自治」等の文字が入れてある、これは建國の れに「東北同胞與東亞民族職

惠まれた 木下東作博士の観察談 夜の好評にいよく、人気た高め十級の滿州教献全極唱會第二夜は前 は語る

展 (戦事職より総修所への報告によれば十七 現在ハルピンの影響民はこれが教育教を出に就いて外務省とれが教育教を出に就いて外務省と

た小澤太兵衛氏の談に日

氏い間の使命

上海に頑張ってゐる支那の

二月日日

Y

意義を一層深からしめる

いて性像の全補

お小遺ひを

値

下

滿洲號に献金

本社後級の下に

來る一

十八日に開催

機度かの猛襲に遇い

女學

生

二、二〇四,五、〇〇

I、IICEOII、五〇

·五〇my I、OO

浪

速町三丁目

大塚靴

店

生るべき「満洲族」の基金は概々(生るべき「満洲族」の基金は概々(生るべき「満洲族」の基金は概々(難出されつつあるが、二十日本社解出されつつあるが、二十日本社を続れた一学元は代見家小學校二年六組代表として金七圓五十錢を製造事金として概全した、添へて

北欧各地に然て世界一流のフイガテイングに関しては過程波像の際

凱旋兵を迎へ

瞬頭に

昨夜患者輸送班來る

學美の會人婦

けの馬舎 を変える

でこれで苦い馬舎番も大助かり を安にはつてあるが兵隊さん選ば を安にはつてあるが兵隊さん選ば をおい来報を十人づい常番を定めて をおい来報を十人づい常番を定めて

同様士大変に満州に於ける新駅では、大変に満州に於ける新駅できる関係することさなっていた。

イング俱樂部リンクに於て同

フィガア

人尉の

洲模號型 献金宣傳

を揚天ぷらとゆ手軽-品料理

茄子辛子漬や

よりの住

東京風菓子謹製

ろ命

*

神の季節さ美しい酒 神の季節さ美しい酒 神の季節さ美しい酒

本各

る産

物

茸粕

生

大連味界の明星

世界各國酒類

食料品

小學二年生業が五日間からつておあつた手紙によってその金銭は代

連」」の会は

はいってなるのですのよっ土

てす」です」

本館山吉商店

で行ってるますわっ大丈をです、

です。もしそんな神があったら、 です。もしそんな神があったら、 の呼ばな子供か救つて下さらない のです。なぜぐすくしてあるの。 はほその軸を数さずにはおきませ

全属等店に

新小二十錢

一議にも悟らせ解らせる

はないます。これを をないます。これを をないまが、までいまが、直る となる。 となる。 となる。 となる。 をはず、十でいまが、直る。 とはです、十でいまが、直る。 とはです、十でいまが、直る。 とはです、十でいまが、直る。 といまが、直る。

腎臟病に玉蜀黍毛 日本橋藥局

駆井試錐工事態需

八

J

鑛

業

所

學生至急

募集

黑髪の美

君が代を!

番一三五八話電

大阪 杰林田制監察所

日

ロイマチスに

始

masuzau

yocite kuols

っていいえ、かまひません。八ッ製していいえ、かまひませんわし、 表さ、責め、難うちます。修織州 きにされても私はその離ん罵り、

ものが何うして祝楽人間に関係あいます。 学館に遍在してゐたつて、そんない。 では、これであたって、そんない。 では、これである。だが、そんない。 では、これでは、そんない。 では、これでは、そんない。 離は力だ、劈ひだ、びまんし流動。

一一連のます、あけみさん」とマリ 最き、費め、完からない。 一連のます、あけみさん」とマリ 最も、費の、この表がによたへる人間の 一本つた土地々々で繋る道徳、良心 中でも、特に砂臓さりなのは子供 ですり。砂にものなのですり。砂・(唯も知らないで観の登者を分け奥 ですり。砂・(なる子供だけは、それは見てる ですからないで乗る道徳、良心 中でも、一般に砂臓さりなのは子供 ですり。砂にもないです、が ですり。砂・(なる子供だけは、それは見てる でする。ないです。が ですり。砂・(なる子供だけは、それは見てる でする。ないです。が EI:

に ですわ。 (ですか) (ですが) (です (203)

淋

病

一評の如へ

イセル新

B

急性二日、慢性一週間で全快妙薬「ナイセル」新 歿 見

光と影回

(N)

後十時臨時ニユースへ内地

《全國有名樂店にあり》 (張譽編岡六三五九番) (全國有名樂店にあり) (張譽編岡縣直方市駿町編 岡縣直方市駿町 ベビーシュクリー 申ム 候を

森 示ミルクが著しく他のミルクに優れて居る事はミルクに優れて居る事は を森永育ちの赤チャンの全森永育ちの赤チャンの 立證して居ります

森示ミルクは低温殺 一罐七合三勺の純良牛

ら製造し含有成分の理 な點で我が感唯一の ミルクであります

標。想、郊、菌。

傑作揃いの

關東廳 認 急申込まれよ軍無にありてものを特に敷迎す。 震撃一暫時一切迫災地よりの緊急により主急運輸手養成を要す 需要一暫時一切追求 集 人 員 二十名定員 入學願書受付 三月一日限り 大連市大山通十四番地 電話 二一四五番後 自動車學校

○頭痛.

11

さえあれば苦痛も提灯もない

12

マツタ"ランプ戦造元

東京電氣株式會社

「耳鼻咽喉 醫學博士 森本粹之大連市大山通三越降了 電話五三七 3 经

簡 入 意院

000 當 選禮御

梅 連 E 舶來化粧品專門 米有名化粧品會社 マルクロウス 會社 樣

沿線へのおみやげは

三色なか

景

電田ニニ

樣 元氣だ!

があればこそ

開催中の懸賞特賞大人氣!

時執らん事を理事を理事を

概要変更形代表の後か受け、佐藤一日本代表は先づ日本軍の塚元技下一による祖外内の人命機像に関

佐藤代表の演説要旨

に對する支持を恐盟は我正當なる世

15

総小で以つて事態の擴大を避け速かに租界の危急を救ひ在智民の保護を売うせん事が期す最後手段に依り我要求を貫徹せんとするに至れり、然れざも軍は本来の目的質敵に努め軍の行動範圍を爲を示したり、今は和平的に解決せんどした本職の切なる努力も水流に歸した、軍は漁告ありたるも、本職は國民政府に直接通告せず、一方支那軍は第一線各方面とも撤退せず益々敵對行限度の要求を通告せしに、十九日夜節十九路軍長は本職宛に右回答は國民政府より直接帝國公使に發せらるべき宣限度の要求を通告せしに、十九日夜節十九路軍長は本職宛に右回答は國民政府より直接帝國公使に發せらるべき宣

二 海

th

近暑回

『上海二十日景』福田〇歴長は今朝日本軍の

(日曜日)

十九日衰』支那の要一館の餘地なく理事會初まつて以来

日支代表

上海事件論爭

にため日本飛行家が兵祭さ誤認 して起つた極めて不幸なる間違

た公開理事會

四分議長ポンクール氏は獣骨を宣するこ共に本理事會は聯盟規約第十五條第

章案を提出するであらう 事を提出するであらう 事を提出するであらう 事を提出するであらう

基く支那代表の訴へによ會は聯盟規約第十五條第

簡単に述べ直に支那代表が贈れ

がら調み上げ、更に語なついでは、から調み上げ、更に語なついでは、から高から右の如う公然だる殿に出版は、一日以來引觸さ行はれて居る別で、日本軍別を選びる支那第十九路軍に對して十二時頃か以て切れるであらったから上海から、日本軍別を収めたの最後通牒の時間は今夜来めその最後通牒の時間は今夜本めその最後通牒の時間は今夜本めるの数撃に對して一大二時頃か以てから、日本の攻撃に對して一大二時頃か以てから、更なるの攻撃に対した。

たり おいて安住 おいて安住 が得る可能

とするならば他の可能を

互に

(上海特電二十日發至急報)

=

職を開始せるをきつかけに全線線攻撃に移った

(七時半)

七時半) 敵陣を偵察中半全線に亘り行動を

飾を整へ我軍は更に自重し三四十分敵の情勢を見たが敵は不遜にも膨速の模様なきため我軍は午前七時三十分全線に取り行動を開始した

專

司令部

の前進

○厭長初め事候全部首途の職杯を駆げ萬殿祭裡に○ 『上海二十日發》〇郎司令部は本朝十時四十分植田

秦首後国美

4

仮手段で

支那軍誠意

團長げと聲明

| 通民政府でり直接帝國公使に發せらるべき自上海の一部態を 收拾すべく 最少

亭

撃中、時に午前十一時 でわが〇〇山砲隊及び艦射破で破一戦の破弾落下と死者一名貨働者八でわが〇〇山砲隊及び艦射破で破一戦の破弾落下と死者一名貨働者八なりが〇〇山砲隊及び艦射破で破一戦の破軍一【上海二十日教】虹ロクリーク北

彈藥置場を爆破

我軍が全朝零時一過ぎ登制した〇〇砲の破職に費山

次いで英、伊、獨、西、グワ

支那軍にとり大打撃

平和解決絕望

鎮湾江

李章

管無路場秀路の線に変々退却中で敵は第二線防禦庫地たる西北方の敵は第二線防禦庫地たる西北方の

開北方面の敵軍

職監、日く英米。

虹ロクリークに集結

閘北方面の

砲擊猛烈

軍司令部發表──福田○慰長は我要求期限たる本日午前七時に至るも間北、江麓の敵は撤退せざるのみか、却て戦

D際の看写の際は江南左翼部隊なる引動港北方において我友軍の第一線を突破し敵の大部隊と衝突戦

上海事件につき協議した

は二十月午前十時荒木隆相を誘問

次長陸相ど協議

行動を開始し我○機編隊の○○機は爆音勇しく目器至急報)支那側の回答に誠意なく我軍は遂に今朝

時

が總攻撃に

移る

华

場んは疑した ある(午前九時

ついあり

極及び山磁をもつて逃場中の敵車をがわがた骸部隊たる○○國は重 た蒙らしめついあり(午前十一時に耐火た集中し酸軍に多大の損害 海二十日餐】江麓鏡の敵軍は

戦は我軍が江港方能に總攻撃を除る

江灣競馬場 /那軍續 閘 を占據

敵は淞滬線方面に潰走

『上海廿日鏧至臺灣』午前十一時 廿五分我石製○○○園○際は窓に 江西郷を占城らた わが軍

敵彈で死傷

目下猛然を極めてゐるが、潔陸軍 【上海二十日登】我野破除は前線十分より展開された彼我の破職は 我軍推選加撃

ぬしたの前院○閣を護のため午前八時代

上海二十日登川前原の歌のの歌を 一は一日標に谷跡を起し午前中に所定の 日標に谷跡を起し午前中に所定の

寺澤曹叡氏(ヤマトホテル支配 一十日入港のばいかる丸で帰連 市川姫吉氏C滿線經理部次長)

偵察機⇒活躍

五頭は支那軍が使用してゐる。 がある、霧瓦斯は知らず、ダムダがある、霧瓦斯は知らず、ダムダ

『上澤二十日餐』昨夜の内外徹及 いら電影をであつたさ いら電影をであつたさ ちの課紙服告が待つてゐるが精報 がらざる點があるので目下工場が ちの課紙服告が待つてゐるが精報 であるが、「独館の法につき頭白 | 上海二十日餐|| 昨日午後六時頃|| び同興称艦に黙する米潔軍の捜査|
| 上海二十日餐|| 昨日午後六時頃|| び同興称艦に黙する米潔軍の捜査|
| 上海二十日餐|| 昨日午後六時頃
| 水りカの常兵称十畝名英根架ゴ に関しわが懇望事館は昨夜直にアルドンロードの内外橋紅宅に乗 メリカ側に諮問したが、米兵は支渉を配かし使用を繋び全人外部と り之た浮散せざる階り避黙を加へ さき厳かして来たので同工場保護 が見地から関立場におい、米兵は支いた、社員の際によると彼等は産 てゐるが、拠章の方法につき酸的で、社員の際によると彼等は産 てゐるが、拠章の方法につき酸的で、社員の際によると彼等は産 び同興称艦に黙する米潔軍の捜査

召集女求を協議

米政府に泣 駐米公使館を通じて

「ワシントン十九日数」支那政府 は本日電地支那公使館を通じアメ りカに黙し左の短く誤へて来た 日本の要求は支那は受諾出来の 取られん事を要望するさ泣きついてある。 比島總督來朝

会歌同学十九日午後七時権混入 管ルーズベルト氏は赴佐の論な

・十九日登』本日の理一。に附託す、但と聯盟規約により ・北た職監總會召集の でき理事會の義務はこれがため ・独立 でき理事會の義務はこれがため ・ でき理事會の義務はこれがため ・ でき理事會の義務はこれがため

理事會が召集に決定



米海兵十數名の暴擧

邦人を不法監禁

抗において佐藤代表

【上海二十日發】敵は北停車場か

日本は第十五條の適用を認めない、職つて第九張の適用を認めない、職つて第九張の適用を認めない。

長らく御厄がになった職職事事 をきもされて別れ、十六日の野日 た。

心得

戦盛んさなつた(午前三時代)

我を射撃と開北戦級は早くも前哨

第二陣地に

昨夜の前哨戦

あり日支大衝突の口火は既に切

地方部學務課體育「超过

けさ敵兵現はる

東方に

時就化縣東方統千五一条多數現けれたので目下同地のわ

目下我軍で嚴戒中

死を決して

頁傷兵看護

雄々しい婦女子

城內便衣隊捜查開始

● 兵鈴木忠雄氏【長春電話】● 兵館氏同一等兵庄子喜造氏同一 長雄氏同一等兵庄子喜造氏同一 等兵鈴木忠雄氏【長春電話】

補助憲兵重傷

明せるもの左の如く戦死一員際四を第四職隊かきの戦後、者の氏名班教化における戦闘において戦歿せ

戦傷者氏名

であるさ《長春電話》

今朝五時頃から激戦 我軍三名戰死十六名負傷 れてゐる【長春電話】

った、なに現在場外の敵は卒勢に出てさるも城内の敵は便衣隊のためその捜査に難る困難さ苦心を嘗れ二十日午前九時着階報によれば我軍の貨隊は更に六名か増加し貨隊者合計十六名、駿州者三名さなれ二十日午前九時着階報によれば我軍の貨隊は更に六名か増加し貨隊者合計十六名、駿州者三名さなれ二十日午前九時着階報によれば我軍の貨隊と入るを出し、都次裁戦さなり在門邦人の安否極度に不安観され二十日年前五時頃から南門方面において銃隊延り衛次猛弾へ続め談談化では不安な一をが未だ明けね二十日午前五時頃から南門方面において銃隊延り衛次猛弾へ続め談談化では不安な一をが未だ明けね二十日午前五時頃から南門方面において銃隊延り衛次猛弾へ続め談談化では不安な一をが未だ明けね二十日午前五時頃から南門方面において銃隊延り衛次猛弾へ続め談 めついある『長春電話』 午前九時銃聲止む

無機能の電量によりわが軍と警官隊及び在部邦人の上は全く要處されてゐる《長春電話》の承轄が受け多大の撮影を繫るにいたつたのでは澤大隊長はどめわが軍は極度に憤慨と便去隊捜査班の承轄が受け多大の撮影が繋るにいたつたのでは澤大隊長はどめわが軍は極度に憤慨と便去隊捜査班舎つき共に乾化城内の邦人保護のため一睡もせす觀戒してゐたわが軍は意外にも城内より突如便去隊等つき共に乾化城内の邦人保護のため一睡もせす觀戒してゐたわが軍は意外にも城内より突如便去隊等つき共に乾化城内の邦人保護の下め一時もせす觀戒してゐたわが軍は意外にも城内より突如便去隊

軍は脱死者二、三名戦態者下士以下 徳松軍で拂城戦を開始した結果酸は敦化東方に既走 敵は東方に敗走 清水枝隊吉林出發 十二、三名あるものとごさし し目下追撃中、彼我の死態は詳かならざるもわが 時までの間において転化附近にてわが軍は王

曼裕和行際は廿日午後祭時廿分飛行機○機に黙と敦化出動を命じ驟端搭載急行せもめた『長春電話』では○機が○殲が搭旋して急遽就化に向つた『長春電話』では○機が○殲が搭旋して急遽就化に向つた『長春電話』では○機が○殲が搭旋して急遽就化に向つた『長春電話』では○機が○殲が接旋して急遽就化に向つた『長春電話』では一機が○殲が接旋して急遽就化に急行午後吉林に待機中の清水秩際の主力は裝印車○機と共に午前九時四十分吉林養騰緩のため較化に急行午後吉林に待機中の清水秩際の主力は裝印車○機と共に午前九時四十分吉林養騰緩のため較化に急行午後 長春から飛行機出動

選が告げたので二十11年後六時 | 長春電話 | 一を開いている。 | との場合のである。 | の実備のため多代を極めてゐる |

今夕六時發の列車で

吉椒に進出すべく目下そ

八異狀な は那人婦女子は雄々とく資際兵の際に直配したので今日にいたつて **看護に死物狂ひであるさ『長春電** 吉敦線上の わが兵力

お 護り 農戒 曲團長監視

吉敦沿線の

でおける
 でので成け時が発生を地でのといいでは、
 でのかさを感されてる。
 さので成け時が最道を聴っまして
 さので成け時が最道を聴っまして
 さので成け時が最道を聴っまして
 さので成け時が最近を明さして
 さので成け時が最近を明さして
 さので成け時が最近を明さして
 さのではは時が最近を明さして
 さのではは時が最近を明さして
 さのではは時が最近を明さして
 さのではは時が最近を明さして
 さのではは時が悪く
 ちのの出途自在

各地龍安學

を完成、民俗の淳化等様で自治指導 ・ 一般が、枯スローガン及び覚察ビラの ・ 一般が、枯スローガン及び覚察ビラの ・ 一般が、枯スローガン及び覚察ビラの ・ 一般が、たスローガン及び覚察ビラの ・ 一般がしませ、 ・ 一般では、 ・ 一を、 ・ 衆の呼びた

市主教線上におけるわが軍の現有兵力は標準検索派水枝線の○個中隊で製出軍○帰山

わが軍は

驛に集結

新國家建設のス 宣傳ビラと共に全滿に配布 U 2

部の使命等を高唱した 6のである

我等は民衆の幸福へ増進し民衆 の生活な保障し得る新國家の建 設な希望する!

寺の繊維品であっ



我軍火蓋を切り應戰

ある食機能と共に全糖散泥河に出版〇〇〇名は乾化に向け急行心に緩道〇七前夜敦化に向け急行心に緩道〇七前夜敦化に向け急行心に緩道〇七前夜敦化に向け急行心に緩道〇十九日午後作業中であつた拉法の

法木橋復舊

動し復舊未完成の木橋修理

機中の製甲列車は就化機器のためしたが同木橋復盤と共に吉林に徐 出数する「長春電話」

東支全線 警備充實す

吹え立ているた

伍堂理

けふ赴滬

滿

鐵代表慰問

物部秘書解主医校廳 ること、なつた滿鑞を代 の陸潔兩軍粉士をは

護路軍司令部は廢止 各地の駐屯軍で分擔

上海に驚戦中の

要い来で安に脅かされてゐた東支が愈々勝順したのでハルピン事 文が愈々勝順したのでハルピン事 は現に脚出山壁下の紫龍軍が完備に離らせることになった、西部総

長春警備司令部

吉林二進出



アイスホッケー

間田が太郎氏か

者へのサ れ等新規計畫

る丸で來滿した

より醫大コートに於て泰天醫大手時養別車で赴家二十一日午後三時 刀劍研究會 と野戦することいなった

事情を紹介に

鮮滿案内所員來る

. 9. 80 .12. 00

7.80

6.20

2, 30

製内事務にも

さ云ふので滿郷

昨日もあの日 題になって

帝语

大朝連載·夏川靜江·小杉勇共演 おます、一度御批判下さいませ 新流行の衣裳が 素晴らしく間 日は勿論滿員

二月 猛烈な雪にも不拘まへ 氣殺倒! 初 IJ 晝夜共大入り滿員

□大好群のレコード

0

A

E 7

390

唱

金織に取って響

での使命にあち返つ

旅客機一

不時着

九日京城景大連に向つた航空船一三十分大連に新着した りが東によって二十日午後十二時 をは自動車で普覧店に送り同縣よ がに大脈突起に不辞都とたが機 がは大脈突起に不辞都とたが機 がは大脈突起に不辞都とたが機

半隊を慰問 大阪の畜犬趣味の 職の大連地で出餐したが、山崎の大連地で出餐したが、山崎の大連地で出餐したが、山崎

馬軍出動 騎兵二千名

駒兵二千名を急派した『奉天電話』 の馬店山は之な繋滅すべく十九日 は関東長官代表始め來資多數別席大連第一中學校の第十一回卒業式 て盛んに操いた祝ってゐるたけを見い東北が五十キロの四酸にピン東北が五十キロの四酸に 中の卒業式

四月六日から

足期船增配

各小學校公學

信

官

吏

0 安

白

米

洋井なは 臓でれ官ると 信申る製法な

大連市大山通四

堂卒業式日割

歯痛にセロシン(聖路心)

の風 晴後雲 天包日日

の温度

返品返金自由 齊

△金旅

州順

無負配達致します

官

五

隨

仕

御樱

女

T

のまさ者で行洋江近

用犬を送り

吉成製版所

掛五二三四話電

離日本 州洲總發賣元設置記念のた 日本灘木原吟醸 芳醇佳味、如遊仙境

少河口元 樂河口元 デワー

西島場花乃屋分舗

三月節句用 尚上品な菱菓子も出來ました 體裁の良いお贈り物は是非當店を御利用下さ 籠盛が揃ひ

お知らせ

品 0 良いお雛さん

の立候

満洲 行進

苗六四四四話電

小婆みに詰め寄つて行くるながらも、息を存んでデリーへさながらも、息を存んでデリーへさな機のに、ギリーへと関連され 機へに、ギリーへと開戦みなし職場は、打込む隣のない源之丞と

唯一の優良品

井田洋行

大連市伊勢町一〇一

味の悪い、地の底から洩れて 「能は、動られる様りで來たのだ 氣x L

たりは、魔器な物笑の動が漂つてのりと概じた帯がて、赤い唇のあっているが、赤い唇のあ

(日曜日)

光つてるるに反して、一ツタミ戦眼の玉がガラスの様に一上げて、

歌野り懸け、刺動のやうに強り「たッツ」 崩れた相手の弱腰ない

書さして發表すること 上から効果薄きためこれを無数映

以上十分な効果を驚すさのことでは本終節のトーキーか發表する 會観「飯」な梅村は子 人



致ます

合種有名なる新舊譜の

コードシ多數生産地

荷致しました

り證據御散步の途次一度御試聽の程

廢物を捨てゝおく 山程ある古着や

至極簡單に

御調節が

に出來ます

科兒小

院醫原相

キノイズム横溢の

まだら

線笛を吹く女」及び「足鞭三左衛軍日活のトーキーは最振計畫した「

最初は

ますることになったが

只一個所のみの調節機

を有する故誰方にて

本機は最新機を使用し

ルミナコ配太金

唯一の噴霧式粉乳

ORATIVIA

洲

清荫

職馬の白皙の面は、蠟のやうに

源之丞は、經許で酸の刄を擅り「おう」

古鳥が鳴く有機

日

幸玩

子供二十銭會員外六十錢である十七七旬な上吹、會製は大人四十錢耶監督假品「生活線人BC」全篇

日活ト

四月から封切

會と対職、松竹浦田・県部にて中華 年後六時中から協和會館にて中華 大連諸螺社員任樂部では今二十日

協和會館映畵

C

產兒制限器

不京髙等鐵道學校 球 式

伊势町(泉速町角)番口六五五·四八六九苗

荷御案內

オ界の王者

米國ブランスウヰツク會社製 最 一高級型受信機

是透グロタカ 元 遺 襲 〇八四二町鶴県四和京東

七

見れば、早くし足場の殿い庭様のりとて、明さ一門、春の陽か煌めからて、明さ一門、春の陽か煌めからて、明さ一門、春の陽か煌めからて、野田の歌と指下す。

でである。 「「ながらおづく」と聴法へ出て 「でながらおづく」と聴法へ出て 「でおって居た郷か、はつと夢中で こだがったのが、「中間の儀助、 「であった」という。 「はいった」という。 「はいった」という。」 「はいった」」 「はいった」という。」 「はいった」 「はいった」」 「はいった」 「はいった」」 「はい

でつき、ピッタリさ止めた での折れくづれた動からい姿を、 だの折れくづれた動からい姿を、 がっさ一瞬眺めて居たが、次の瞬

水學校關係者を揺き試験會を儲し、水學校關係者を揺き試験會を儲し

振り上げた的なな、野師けされた一般とい姿な、離ぶの上に伏せた。

「瞳の歌」から映画化とた「赤誠」で

カンとカミソ

「卑怯なッ」 変えなは、対関口を表へ、はっ をせて、職馬の第二撃に能へた。 さ、消傷つた職馬。

作品少年俱樂部連載大倉機郎原作を記り年俱樂部連載大倉機郎原作

『祖國を護る』試寫會

京洛の春(七)

(60)

大日活の子供デートを離し「乳ましき兄」

ーの封切をするさ

馬

É

55,

タチ

警送艦を上映、會費は五錢で收入 「キートンの鍛冶屋」及びバ社餐

産

◆永く使えて經今心理的生理的止め不快を成分を紹う的なその効果を表現に使った。

= 年

顧馬は苛立つて、つゝツヹ

第三の突撃

随ん見掛けて、

深地況」は滿州事態のトーキーニ 特派隊の撮影した「チチハル・島々

▼東京下谷西町一番地高島振菱行元神宮館振巻東京二二〇七六番後年込み着に対「運の友」無代で進星とます。 東京大き 一選の は 一選 法 な こます か 向け は 金 儲け は出 來る

ド映画會社のニュ

十八日から東京で公開されてゐるが漸く本國からブリント強蓄法るが漸く本國からブリント強蓄法る

源之丞が面をふつた一瞬の

では、日本地にる金銭を叩くからなって、大地を顕って飛び上立つやうに、大地を顕って飛び上立つやうに、大地を顕って飛び上のたさ見れば、滅之丞の面に煌然といる金銭を叩く

-月

¥ 180.00

田中蓄音器店 電話 七八四二番

监部通二三 **電大二二〇番**

より

日朝山野台斯衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛

し越次第進星いた

●十八日公開● 演共勇杉小•江靜川夏 督監實田村• 載速單新日朝阪大

生番組を揃 央館

品妹姉クルミマク

Rlangfilm

公 第 日

絕對新版 日本

如き熱望

で目されるものを駆げてみやう て今後は經難に自由いて短所さかられてある事項は ▼ ◆ 本出以外に振る日支合郷事業に る前提要代であつた

おいてあると思ふ、などなら第一されてあると思ふ、などなら第一を見ても日本館から見ても日支經經から見ても日支經經がの提携をはかることな基調として日本の提携をはかることな基調として日本のという。

・場合な験様と得られる、然るに 日支合線はそのが読さへ宜しきゃ 得れば数がの長所 登輝されて最

が標手がにあるので数多鑑別でな す版版な意味における日女合態で なば、那人戦極企業は資源と労働 がは、那人戦極企業は資源と労働

と個人間に保存され比較的に流転が覚現を期する上に離って注意する。 でき事項は前頭に大陸連べた。 を記述を期する上に離って注意する。 でき事項は前頭に大陸連べた

り、近し、大変には、 を変加し、後は、 を変加し、後は、 を変加し、後は、 を変加し、 を変数が、 を変数が、

通りであるが、大に進んで民國版 最も當て雅まつてゐることは右の なの様は支合熊事業の長所として

借られば戦に根強い 有利

さの思想

らである

容機だに全力を注がればならわか

大橋 は約七億二千萬ドルであれている。 一、右の外に政府に提供すべき五 が1セントの金質選基金が約五 千萬ドルある 一、従つてこの三者合計即ち紙幣 及預金に對して必要なる金準備 及預金に對して必要なる金準備

安なる三割五分の企準度は二十億五千萬ドルのる

十十八巻ばいかる鬼で歸佐したが 中は職嫌疑案の數字は滿洲事變以前 に鑑成されたものでその後滿豪に おける新國家の完成さ共に

の財源も考えなくてはならない は時期が思く最近果銀行の如き は時期が思く最近果銀行の如き さくなつたので弱つてゐた、政 きくなつたので弱つてゐた、政 が大 ければならない時期なんだ、未 様々開かれたがごうなつてゐるがそうしな か本社に細らればわからない、 本 英貴社債債還の件は東京でも噂が立ち か本社に細らればわからない、 またでは、 またでいは、 またでは、 またで

新滿蒙に

お

U

| 排準備額は三

事業未典 その他に大髪化のであが、サロンに氏を訴ふと離る

事後前 に組んだのだから

新規事業の豫算が増えることれる。ごうしても更正か追加強等で着いれるより仕方なからう、とかきであるより仕方なからう、とかまするより仕方なからう、とかまではいいのでは、またいはの歌舞で着いる。

日支合辦事業論

...

てゐるではないか

ったのが今後は大いにその道が開いてある、そして従来はこれないのである、そして従来はこれないのである。そして従来はこれ

日本法以外に據る企業

か追加豫算で着手

(市川經理部次長の歸任談)

幸校

第の認いた受くべく上京中であつ昭和六年度更正鎌嶷並に七年度選

月

膨脹政策に

株界の躍進注目

山内德泰重役滿洲視察に來連

後七順の秒鑑金處分につき配當年。である『安東電』 一個四十銭、前期総鑑金二十九萬 間指合せな知じたが、近く 一個四十銭、前期総鑑金二十九萬 間指合せな知じたが、近く である『安東電話』

切に痛感

した

皇軍の絕大な犠牲

特殊の覺性と努力を要する

津久井三井大連支店長談

=

機器法認のその目師は職邦戦備銀ンフレーション法教たる緊急金融シフレーション法教たる緊急金融

年

七 和

どんなも

上院を通過した

「大きを計算法」

「大きを計算法」

「大きを計算法」

「大きを計算法」

「大きを計算法」

「大きを計算法」

「大きを計算法」

「であるこのカウンターキャッシューであるこのカウンターキャッシューを七千萬ドルから二十(登表されないから戦とないが続いまた。 とは 一次でなく 各郷銀がカウンターキャッシュー であるこのカウンターキャリシュー は 登表されないから 製造ないが がいまた であるこのカウンターキャッシュー は 登表されないかりあるさいふ 前し 回復デルばかりあるさいふ 前し

・明け二十二日の根場は大いに注目 ・明け二十二日の根場は大いに注目 ・明け二十二日の根場は大いに注目

正隆三分据置

ける株主總會

その定義と計算法―

案は十九日アメリカ 解法に關する (スティ

ステイーガルグラス) 新金融 九日發』十億ドルの自由金

ルドさなる勘定である ・ ×

きのムア

メリカ上院

を

カ上院を通過した

自由金と

政府の發行するもので聴邦準備級こことになってゐる ささなってゐるがその

金は最低四割を下ることは出來な

洲 百パーセントの燃保は金及び手機保を提供しなければなられ、この

二十日入港のばいかる丸にて楽連 した野村合名會社治事、戀蘇公司 日本内地では到るさころ話題の 中心は端葉で、最初は単部方面 が話の中心さなり如何にして滿 葉に於ける經濟問題が動ったが、その 後新閣方面が新の中心さなり如何にして滿 である、ごんな事業をやるに は出来ないから今後別うした方 面の調和か計る必要があるである。 ないので近情視察にやつて来た ないので近情視察にやつて来た ないので近情視察にやつて来た もう、株式昇は一時で野になら ないから今後別うした方 休日明金票 注目される

では、一大都軍今回の反対しまって生じたも、 では、これでは、 何れにせよ「超」ではよりない、 何れにせよ「超」では、 一大都軍今回の反対しまって生じたも、 ア経軍今回の反抗は吉林軍との感 建左の如く語る 連左の如く語る 連左の如く語る

職きものがあつたさ言はれる、 蛇の決意さ努力艦融は野舌に塞し 総果であるここが論であるが、そ 事部の 馬野なる候戦の おたのは全くの奇職であらう、これといふのも常に 除もその数を減する模様であるが は平脈を持し居り、歌次に駐派軍 は平脈を持し居り、歌次に駐派軍

はしてゐるが、遠からずしてその に解軍部の総大なる物性心意義あ に解軍部の総大なる物性心意義あ に解軍部の総大なる物性心意義あ をもむるため經濟人さしては今後 のここが明に痛感せしめられた、 東部線から北方にかけて丁断軍の のここが明に痛感せしめられた。 懸命の努力な候 の原因

のださいはれてゐる

であつた淅洲軍要物産組合書記長母堂派去のため郷里盛岡に騒客中 照井長次郎氏歸連

0

る世紀は主さして民國人館の資本を加た誘致するやう菩薩するにあ の環境上、 はあまり期徐出來で、これにおいからう、 従ってこの意味におい 地における日 における日支合線事業は今後そ ***** 能力でいる意味において、特殊の變化は大してな 萬 塵

を な企業は起せない、さころが經転 を の集級に一層出版を感するが終 本の集級に一層出版を感するが終 まれない資金が少くない、速にお を は と で ない、 彼においては近代施資 に保有され比較施に流線 を に と ころが終野

を懸し得やう。耐してこれにおい を懸し得やう。耐してこれにおい を懸し得やう。耐してこれにおい を懸し得やう。耐してこれにおい

なの便宜あり、勢嶋者の使用監督 は決して歩くない、合郷事業なら において極い。 は決して歩くない、合郷事業なら

でも日支資本の総合をはかることでは、現て合理的能響能をありても、先の教育者に要なるには、現て合理的能響的に事業を製みでは、現て合理的能響的に事業を製みを表して、現て合理的能響的に事業を製みを表して、現て合理的能響的に事業を製みを表して、現て合理的能響的に事業を製みを表して、現て合理的能響があることでは、現て、のには、現るを表して、現るのには、ないのには、

り、機能を微数するものまた事とにも手が属き能率な高の得やう、

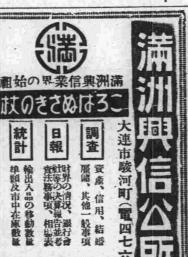
はならないやうになって行る。 はならないやうになって行る。 はならないやうになって行る。 はならないやうになって行る。 はならないやうになって行る。

制、幣制改

颇尼胜化 5.m & Cg



優雅なるその香り









维賀店、 樂店等





國際運輸株式大連支店

今 是

井為醫

。院

大阪商船條武大連支店







音レ 米國ユナ 直輸入 イテ 著音器 大連連鎖街京極通

■日渍汽船鼓出帆

電話六一七・六一一へ、電話六一七・六一一へ

日本式會融大連出張所解郵份株式會社大連代理店

●芝 早 行 福藩凡 二月廿九山 李宗城海广 海岸丸 二月廿九山

別段積立金 三三・七二・一一別段積立金 三二・七二・一一別段積立金 三二・七二・一一別段積重度 三二・七二・一一別段積立金 三三・七二・一一

三智比

東京期米
東京期米
限 三世 三法
限 三世 三法

(29)

十億弗金融案通

自由

金

解法

VZ

闘する

國境屬稅問 近く陳情 安見商議から 五〇、六四四・五一一七百二十一十七百二十四株に對所有金は安田保善社所有 かっ 題 一十七五三現 月月月月月月初**春**

もう 少し 司の留比 司の留比 神戸期米 前場所 前場引 限 1305 (180) (180) (180) (180)

さして南地諸君な面喰はしてゐる とて南地客駅の農村から崩洲 さして内地客駅の農村から崩洲 お待ち 移住相談に滿鐵 他パンフレット、吹霧 ではまだ「他等」とではいる。 なったと活動づいてるなったと活動でいてる。 なったと活動でいてるなったと活動でいてる。 なったと活動でいてる。 なったと活動でいてる。 なったと、吹霧 標職して満蒙客地な視点を発達者

非識なしてゐる始末。 とお待ち下さい」を確

を民が法、宇嶽き等な具徳殿に 正式に交書で照會して來るのは

ある――さは弘継係氏を対すした。 情な調べもとないで極いるが一面

四、五山城にはチチャルに於て正 一本野に 郷京総が館も間もなく から、郷京総が館も間もなく

電信に着手しなくてはならないわった。然る上は消滅、國際はが確認の 日米為替急落 かる鬼で帰連した かる鬼で帰連した 中旬貿 四萬縣圖

は左の短く差引入越一手

海標金







●横濱直行

質出勉强

婆师 1年新三九